

令和 6 年度

# 事業別決算説明

一般会計 歳出の状況

農政建設常任委員会関係

都市整備部

# ○事業別決算説明について

## 1 上段の表中の表示について

- (1) 執行額、翌年度繰越額、執行残額は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は「-」（ハイフン）を表記しています。
- (2) 執行額の財源内訳欄及び執行残額の内訳欄は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は見易さを考慮し空白としています。
- (3) 個々の数字は、表示単位で四捨五入しています。また、財源内訳欄は、それぞれの数値を表示単位で四捨五入し全体額との調整を一般財源欄で行っています。
- (4) 執行額、執行残額は、それぞれ決算書の支出済額、不用額を表しています。

## 2 執行残額について

執行残額については、大きく4つの理由に分けて金額を表示するとともに、具体的な内容を【執行残額について】に記載しています。

なお、原則として千円単位の表記となっていますが、執行残額が「0」の場合（単位未満の数値がある）は、円単位で表記しています。

※令和6年度事業が令和7年度に複数の課に分割された場合は、令和7年度所管課分の数値を記載し、下段【】書きで令和6年度事業全体事業費を記載してあります。

事業の概要以降は、令和7年度所管課分の事業について作成してあります。

(例) 令和6年度事業費(●●課) 48,000千円



令和6年度事業費(令和7年度○○○○課) 36,000千円  
 令和6年度事業費(令和7年度△△△△課) 12,000千円

※令和6年度と令和7年度で所管課名称が変更になった場合、または、課等の名称が変更になった場合は、下記のとおり表現とし、事業を担当する令和7年度の所管課が作成してあります。

記入例 : 令和6年度は●●課で実施した事業が  
 令和7年度に○○○○課に移管された場合

所管課等	○○○○課 (令和6年度所管は●●課)
------	------------------------

(単位：千円)

決算書 (P ~ P)	款 項 目	所管課等	○○○○課 (令和6年度所管は●●課)
事 業 名			

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
36,000 【48,000】						
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	

執行額、翌年度繰越額、執行残額の欄は、次のとおり  
 単位未満の数値あり : 「0」 (ゼロ)  
 該当数値なし : 「-」 (ハイフン)

財源内訳、内訳の欄は、次のとおり  
 単位未満の数値あり : 「0」 (ゼロ)  
 該当数値なし : 空白

地域独自の予算事業の決算説明は、本冊子では事業名、地域自治区、決算額のみ記載しています。実施内容等については、別冊の議会資料に記載しています。

(単位：千円)

決算書 (P118～P119)	2款1項7目 企画費	所管課等	都市整備課
事業名	景観デザイン事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,335	841					841
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	494					494

### 【目的】

- ・市民参画の下、地域の豊かな自然と風土が織りなす、快適で美しく魅力あふれるまちの実現に向け、景観づくりを推進する。

### 令和6年度の取組

### 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

#### ○令和6年度目標

- ・良好な景観形成に向け、建築物・工作物の建設時には周辺地域と調和が図られるように誘導する。
- ・景観まちづくりに意欲的に取り組む地域の活動を支援し、景観づくり重点区域の指定につなげる。

#### ○実施内容、これまでの経過等

- ・景観法に基づく届出制度、景観アドバイザーによる建築物等へのアドバイス
- ・景観づくり重点区域の指定に関する町内会への助言等

#### ○目標達成状況

- ・届出制度や景観アドバイザーによる助言等により、良好な景観へ誘導することができた。
- ・景観まちづくりに意欲的な町内会に助言等を行うことにより、景観づくり重点区域の指定に向けて住民の合意形成が図られ、法令手続きに着手することができた。

### 【事業の成果】

- ・届出制度や景観アドバイス制度により周辺と調和のとれた景観が形成されるとともに、住民が主体となり地域の特色をいかした南本町三丁目の景観づくりの取組が他地域にも波及し、大町五丁目の景観づくり重点区域の指定に向けた取組に繋がった。

### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・景観づくりの誘導施策である景観アドバイス制度は、過去の実績の積み上げにより一定の方向性が見えてきたことから、今後は市民や事業者の主体的な景観づくりに活用できるよう、これまでのアドバイス実績を事例集として整理していく。

### 【執行残額について】

#### ○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる報酬、報償費、旅費等の残 494

(単位：千円)

決算書 (P126～P127)	2款1項16目 みどりのまち推進費	所管課等	都市整備課
事業名	みどりのまち推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,443	9,007					9,007
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	436					436

### 【目的】

- ・イベント等を通じて、市民の緑化に対する意識の高揚を図る。
- ・沿道や施設の花壇等に植栽を行うことにより、市民の心の豊かさの向上を図る。

### 令和6年度の取組

### 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

#### ■上越市みどりのフェスティバル実行委員会交付金 450

##### ○令和6年度目標

- ・来場者へのアンケートで緑化に対する意識が高まったとする人の割合を9割とする。

##### ○実施内容、これまでの経過等

- ・上越市みどりのフェスティバルを開催した。

主 催：上越市みどりのフェスティバル実行委員会

開催日：令和6年4月27日（土）10時～15時

場 所：高田城址公園芝生広場

内 容：上越地域の関係19団体が集まり、花苗や木工品の販売など緑化に関する様々な催しを行った。

##### ○目標達成状況

- ・来場者アンケートの結果、緑化に対する意識が高まったとする人の割合は93.9%となり、目標の9割を達成することができた。

決算書 (P126～P127)	2款1項16目 みどりのまち推進費	所管課等	都市整備課
事業名	みどりのまち推進事業		

■植栽管理等委託 6,421

○実施内容、これまでの経過等

- ・沿道や施設の花壇等の維持管理や植栽を行った。

種別	面積	箇所数、緑化場所等
沿道花壇	4,720 m <sup>2</sup>	63 か所 (合併前上越市 8 か所、9 区 55 か所) ・国道 8 号石橋交差点、国道 405 号牧区総合事務所前等
施設花壇	1,375 m <sup>2</sup>	12 か所 (合併前上越市 3 か所、6 区 9 か所) ・上越文化会館、五智公園等
その他	—	1 か所 ・国道 253 号歩道内プランター (大島区大平地内)
合計	6,095 m <sup>2</sup>	76 か所 (合併前上越市 11 か所、9 区 65 か所)

※一部の花壇等は地元町内会や緑化団体が管理及び植栽を実施

■地域独自の予算事業 2,136

- ・御館川リバーサイド環境美化事業 (春日区) (60)
- ・三郷のバス停を花で飾る事業 (三郷区) (73)
- ・クリーンナップ上越 in 五智事業 (直江津区) (510)
- ・R350 花壇整備事業 (有田区) (420)
- ・保倉地区環境美化事業 (保倉区) (294)
- ・北諏訪を花で飾る事業 (北諏訪区) (90)
- ・頸城線植栽モデル事業 (頸城区) (689)

【事業の成果】

- ・上越市民みどりの憲章に掲げる、「みどりの大切さを学び、みどりを守り育て、みどりを次の世代に引き継いでいく」取組の一環として、沿道や施設の花壇等を維持管理し、植栽を行うことにより緑化意識の啓発や景観の向上、環境の保全を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・上越すみどりのフェスティバルは、連休初日であり、行楽地などへ人出が分散した影響から過去 5 回の平均来場者 4,750 人を下回る 4,000 人の来場者となった。フェスティバルの目的である緑化に対する意識の向上に向けた取組については、目標の 9 割を達成しているものの、子どもたちが楽しく学べるイベントの増設や緑を感じる空間づくりなどは、引き続き実行委員会の中で検討していく。

【執行残額について】

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる委託料等の残 436

決算書 (P126～P127)	2款1項16目 みどりのまち推進費	所管課等	都市整備課
事業名	みどりのまち推進事業		

〔上越市みどりのフェスティバル〕



高田城址公園芝生広場

〔植栽管理等委託〕



上越文化会館花壇

(単位：千円)

決算書 (P282～P283)	8 款 2 項 1 目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	道路管理総務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
73,212	70,154	2,129		8,800	553 (譲収入等)	58,672
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,058			704	2,354	

## 【目的】

- ・市道の道路敷地内に確認された民有地については、用地測量業務等を実施し、計画的に土地の所有権移転登記を行い、未登記土地の解消を進める。
- ・道路の現況と道路台帳に記載された道路の基礎的な事項を合致させるため、市道の道路台帳を整備・更新する。

## 令和 6 年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■未登記土地の処理 9,657

## ○令和6年度目標

- ・道路敷地内に確認された分筆登記が必要な民有地の測量・調査業務委託を早期に発注し、分筆登記を要しない民有地と合わせて90筆の所有権移転登記を年度内に完了する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・分筆が必要な未登記土地については、測量・調査業務委託を実施して道路敷地を確定し、所有権移転登記の手続を進めた。
- ・分筆を要しない未登記土地については、地権者からの登記書類提出を受け、所有権移転登記の手続を進めた。
- ・主な経費

項目	令和6年度		内容
	発注件数	金額	
測量委託料	6	6,284	用地測量業務
調査業務委託料	4	3,373	用地調査業務
合計	10	9,657	

決算書 (P282～P283)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	道路管理総務費		

○目標達成状況

- ・分筆が必要な未登記土地と分筆を要しない未登記土地を合わせた105筆の所有権移転登記が完了し、目標を達成することができた。

■道路台帳整備委託 13,917

○実施内容、これまでの経過等

- ・道路法に基づき、道路台帳調書等を作成した。また、道路台帳附図の新規作成及び修正を行った。
- ・主な経費

項目	令和6年度		内容
	発注件数	金額	
道路台帳整備委託料	1	6,120	道路台帳調書等作成業務
	1	7,797	道路台帳附図整備業務
合計	2	13,917	

【事業の成果】

- ・未登記土地の処理は、105筆の所有権移転登記が完了し、事業の進捗を図ることができた。
- ・道路台帳の整備・更新により、市民等が現況と整合した道路台帳調書や附図を閲覧できるようにした。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・未登記土地の処理については、土地所有者の所在が不明な場合や相続が終わっていない等の理由から、事務処理が困難になってきている。このため、事前に土地所有者の調査を丁寧に行った上で、円滑に登記事務ができる箇所を優先して進めていくほか、相続未了の方へ解消を促すなど、引き続き未登記土地の解消に向けて取り組んでいく。

【執行残額について】

○入札差金

- ・測量委託料、庁用自動車購入費等の入札差金 704

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる旅費、燃料費等の残 2,354

(単位：千円)

決算書 (P282～P283)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	私道整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,363	2,363					2,363
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	-					

## 【目的】

- ・私道の整備に係る経費の一部を補助することにより、市民の生活環境の向上を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・予定する私道整備に対し、適切な補助金交付事務を行うとともに、降雪前までに整備が完了できるよう、申請者に対し指導する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・事業内容(通常受付分)

地区	施工地	事業内容			事業費	補助金
		工種	延長(m)	幅員(m)		
合併前 上越市	青木	舗装新設	7.0	5.5	506	202
	南城町一丁目	舗装新設	60.2	3.5	1,416	566
	木田一丁目	舗装修繕	1.9	0.5	81	32
	木田一丁目	舗装修繕	3.9	0.7～2.8	220	88
	大和一丁目	道路改良他	18.2	4.2～4.7	1,100	440
	寺町	舗装新設	30.4	2.6～3.1	847	338
	本町三丁目	道路改良	4.5	1.0	165	66
合計 7件			126.1	—	4,335	1,732

決算書 (P282～P283)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	私道整備事業		

・事業内容（令和6年能登半島地震対応分）

地区	施工地	事業内容			事業費	補助金
		工種	延長 (m)	幅員 (m)		
合併前 上越市	西本町三丁目	側溝改良他	7.9	0.2	105	42
	西本町四丁目	側溝改良	11.4	0.4～0.5	308	123
	五智三丁目	側溝改良	43.7	0.2	1,166	466
合計 3件			63.0	—	1,579	631

※地震により私道が被災し、当事業を活用して復旧工事を行ったもの

・過去5年間の実施状況（通常受付分のみ）

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件数	4	6	6	5	7
補助額	2,817	3,198	2,216	2,699	1,732
延長(m)	266.4	257.3	134.4	219.0	126.1

○目標達成状況

- ・通常受付分の7件は、9月末までに整備が全て完了した。

【事業の成果】

- ・私道整備事業補助金の活用により、私道の整備が促進され、生活環境の向上を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市民の生活環境の向上を図るため、私道整備事業補助金制度を活用し、私道の整備が促進されるよう、市ホームページや広報上越により周知を図っていく。

〔舗装新設工事（南城町一丁目地内）〕



着手前



竣工

(単位：千円)

決算書 (P282～P285)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,783,216	1,419,914	157,595		613,300	5,876 (繰越金等)	643,143
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
356,888	6,414			690	5,724	

## 【目的】

- ・道路パトロールや市民からの通報等により発見した損傷箇所の修繕を行うほか、道路清掃、除草等を実施し、安全・安心な道路空間を確保する。
- ・市道の法面修繕工事等を行い、災害の発生予防や被害の拡大防止を図る。  
直江津駅及び黒井駅の自由通路、アンダーパス等の道路施設の適切な保守管理を行い、道路利用者の安全・安心を確保する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■道路維持修繕・委託業務 901,150

## ○令和6年度目標

- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(1月補正追加)  
※計画的舗装修繕、通学路の交通安全対策

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・道路パトロールや市民、関係機関からの通報等により覚知した損傷箇所の修繕工事を速やかに実施した。
- ・道路及び側溝清掃、草刈りなどのほか、街路樹の剪定を行った。
- ・外側線の摩耗が著しい路線について、計画的に引き直し修繕を行った。
- ・舗装の劣化や損傷により、道路利用者の安全な通行に支障を来す箇所について、計画的に修繕を行った。
- ・道路舗装の点検にAI技術を活用することにより、点検業務を効率的に実施した。
- ・道路照明の定期点検を実施したほか、老朽化した照明施設について、計画的に修繕を行った。
- ・通学路に指定されている市道の交通安全対策を実施した。
- ・主な経費

項目	令和6年度		内容
	件数	金額	
施設管理委託料	16	161,960	道路パトロール等

決算書 (P282～P285)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

項目	令和6年度		内容
	件数	金額	
街路樹管理委託料	57	39,591	街路樹の剪定、冬囲い等
道路清掃管理委託料	21	13,011	幹線道路等の清掃
道路側溝清掃管理委託料	19	5,617	道路側溝の清掃
道路草刈業務委託料	46	52,219	市道の草刈り
調査業務委託料	10	15,750	舗装構造調査、道路照明施設の点検等
市内一円道路修繕工事	543	297,608	舗装、外側線、側溝、防護柵等の修繕
道路維持修繕工事	44	282,968	計画的舗装修繕、計画的照明修繕
交通安全対策工事	13	11,921	通学路の交通安全対策
合計	769	880,645	

○目標達成状況

- ・国の補正予算活用分については、令和7年3月末までに発注を行った。  
※計画的舗装修繕、通学路の交通安全対策

■道路防災事業 442,670

○令和6年度目標

- ・工事については、早期に発注し、降雪前の11月末までに完了する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(1月補正追加)

○実施内容、これまでの経過等

◇令和5年度繰越明許分

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容
大島区	細越大新田線	岡	工事請負費 13,996	法面修繕 L=12m
牧区	牧飯山線	上牧	工事請負費 107,663	法面修繕 L=77m

◇令和6年度分

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	有間川茶屋ヶ原線	茶屋ヶ原	委託料 9,404	測量設計 一式 地質調査 一式
	高土町幹線迂廻線	高土町二丁目	委託料 1,075	測量設計 一式
	新幸橋仲町線	西城町三丁目	委託料 5,559	測量設計 一式

決算書 (P282～P285)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	城山浄水場線	灰塚	委託料 3,159	測量設計 一式
	高住長浜線	高住	工事請負費 847	防護柵設置 L=10m
	愛宕谷牛池線	牛池新田	工事請負費 5,520	法面修繕 L=15m
	寺町大谷内線	御殿山町	工事請負費(前払金) 3,800	側溝改良 L=70m
	春日山町一丁目3号線	春日山町一丁目	物件移転補償料 1,947 工事請負費 19,346	水道管移設 一式 側溝改良 L=100m
	国府西本町線	国府四丁目ほか	工事請負費 9,570	道路冠水注意喚起システム設置 一式
安塚区	武能日影線	坊金	委託料 7,859	測量設計 一式 地質調査 一式
	行野樽田線	樽田	工事請負費(前払金) 10,200	法面修繕 L=61m
	上方南川原線	上方	工事請負費 8,823	法面修繕 L=52m
浦川原区	中豊堂地線	中猪子田	工事請負費 3,449	法面修繕 L=7m
	川南線	有島	委託料 2,109	用地測量調査 一式
大島区	宮ノ崎線	岡	委託料 3,696	用地測量調査 一式
	竹平田麦板山線	板山	委託料 933 工事請負費 9,337	測量設計 一式 法面修繕 L=19m
	細越大新田線	岡	工事請負費 6,459	法面修繕 L=11m
牧区	牧飯山線	上牧	工事請負費(前払金) 81,900 工事請負費 1,573	法面修繕 L=140m 法面修繕 L=5m
	坪山平方線	平方	工事請負費 19,671	法面修繕 L=30m
	落田川井沢線	落田	工事請負費 2,248	路面修繕 L=41m
	大月下川井沢線	下川井沢	工事請負費 4,752	法面修繕 L=5m
柿崎区	黒岩芋ノ島線	城腰	工事請負費 2,389	法面修繕 L=42m
	柳ヶ崎荻谷線	柳ヶ崎	工事請負費 2,912	法面修繕 L=13m
	山谷旭町線ほか	山谷	工事請負費(前払金) 9,500	道路嵩上 L=293m
大潟区	大潟565号線	土底浜	工事請負費 4,906	側溝改良 L=60m

決算書 (P282～P285)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容
頸城区	西福島北福崎線	下三分一ほか	工事請負費 60,048	防護柵修繕 L=1,100m
板倉区	菰立機織線	山部	工事請負費 1,111	側溝改良 L=7m
	工業団地北部2号線	稲増	工事請負費 4,510	水路改良 L=100m
清里区	上深沢上田島線	上田島	工事請負費 4,987	防護柵修繕 L=71m
名立区	十菅平線	名立大町	工事請負費 2,013	側溝改良 L=8m
	越尾戸線	名立小泊	工事請負費 2,088	防護柵修繕 L=58m
	脇の谷道下線	赤野俣	工事請負費 1,298	防護柵修繕 L=33m
	上ノ山線	小田島	工事請負費 847	防護柵修繕 L=28m
	前田線	赤野俣	工事請負費 1,166	防護柵修繕 L=29m

○目標達成状況

- ・当初予算に係る28か所の工事のうち、21か所は11月末までに完了したが、7か所については関連工事との工程調整に時間を要したほか、令和6年能登半島地震の災害復旧の影響により作業員の確保ができなかったことなどから、3か所は3月末までに完了、4か所が繰越しとなった。
- ・国の補正予算活用分については、令和7年3月末までに発注を行った。

■その他道路管理業務 76,094

○実施内容、これまでの経過等

- ・直江津駅及び黒井駅の自由通路、アンダーパス等の道路施設を適切に管理した。
- ・主な経費

項目	令和6年度		内容
	件数	金額	
排水施設等電気料金	24	9,811	直江津駅及び黒井駅自由通路、市道アンダーパス等の電気料金
営繕修繕料	5	819	五智アンダーパス排水ポンプ修繕、佐内アンダーパス制御盤修繕など
施設管理委託料	29	18,321	直江津駅及び黒井駅自由通路、市道アンダーパス等の道路施設管理
排水ポンプ更新工事	1	44,880	佐内アンダーパス排水ポンプ取替工事
合計	59	73,831	

決算書 (P282～P285)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

### 【事業の成果】

- ・道路損傷箇所の修繕、道路清掃及び草刈り等を実施したほか、外側線の摩耗が著しい路線は、計画的に引き直しを行うことにより、道路の保全及び円滑な交通を確保し、安全・安心な道路環境を構築することができた。
- ・AI技術の活用により、道路パトロール時に取得した画像から舗装の損傷状態を診断し、路面状況を効率的かつ的確に把握するとともに、舗装修繕計画に反映させるためのデータを収集することができた。
- ・道路照明の修繕工事を実施し、安全・安心な道路交通を確保することができた。
- ・通学路における合同点検の結果を踏まえ、グリーンラインを設置するなどの対策工事を実施し、通学路の安全を確保することができた。
- ・道路法面等の修繕工事を実施し、災害の発生予防や被害の拡大防止を図った。
- ・直江津駅及び黒井駅の自由通路、アンダーパス等の道路施設の保守管理を適切に行ったことにより、道路利用者の安全・安心を確保することができた。

### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・職員や委託業者のパトロールにより、引き続き損傷箇所の早期発見・早期修繕に努め、道路管理瑕疵による事故を未然に防止する。
- ・道路舗装や照明等の経年劣化、外側線の摩耗が著しい路線が増加していることから、引き続き計画的に修繕を実施する。
- ・道路維持業務の効率化や省力化に向け、新技術の導入について調査研究を行っていく。
- ・近年、頻発する台風や局地的豪雨による路肩や法面の崩落等が危惧されることから、引き続き災害防止対策に努める。

### 【執行残額について】

- 入札差金
  - ・委託料、工事請負費の入札差金 690
- その他
  - ・当初の見込みを下回ったことによる共済費、委託料等の残 5,724

(参考) 道路維持費の推移

(単位：千円)

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
774,718	778,398	868,782	1,129,908	1,419,914

(単位：千円)

決算書 (P284～P285)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他 (繰越金等)	一般財源
1,339,250	896,620	469,857		393,700	20,625	12,438
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
440,031	2,599				2,599	

## 【目的】

- ・狭あい道路の拡幅改良や通学路における歩道新設、老朽化が著しい道路側溝の改良など、市道の整備を推進し、市民の生活環境の向上を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・工事については、早期に発注し、降雪前の11月末までに完了する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(1月補正追加)

## ○実施内容、これまでの経過等

## ◇令和5年度繰越明許分

地区	路線名	施工地	主な執行額		内容	
合併前 上越市	三ツ橋三田 新田線 (都市計画道路 黒井藤野新田線)	三田新田 ほか	委託料	110,882	機雷探査 一式	
			工事請負費	64,912	盛土材測量管理 一式	
	藤野新田塩 屋新田線	藤野新田	工事請負費	12,974	道路築造	L=337m
	東町駅前線	東町ほか	工事請負費	19,128	側溝改良	L=242m
	春日山荘南 団地5号線 ほか	春日山町 一丁目	工事請負費	35,677	道路改良	L=76m
	藤新田7号 線	藤新田二 丁目	工事請負費	16,594	側溝改良	L=505m
上昭和町滝 寺線ほか	滝寺	工事請負費	25,221	道路改良	L=80m	
		補償、補填及び賠償金	3,225	側溝改良 物件補償 一式	L=337m	

決算書 (P284～P285)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

地区	路線名	施工地	主な執行額		内容	
合併前 上越市	御殿山町東 団地7号線	御殿山町	工事請負費 補償、補填及び賠償金	7,591 574	側溝改良 物件補償	L=47m 一式
	北本町春日 山町線	北本町二 丁目ほか	工事請負費	36,284	側溝改良	L=418m
	大和三南高 田線	南高田町 ほか	工事請負費	90,984	道路築造 舗装新設 道路照明 旧橋撤去	L=514m L=329m 一式 一式
	寺町下箱井 線	上箱井ほ か	工事請負費	54,845	歩道新設	L=320m
	戸野目南新 保線	桐原	工事請負費 補償、補填及び賠償金	18,736 1,572	側溝改良 物件補償	L=257m 一式
	杉野袋上千 原線	中真砂	工事請負費	28,257	側溝改良	L=323m
牧区	芋ノ坪高尾 線	切光	工事請負費	3,205	側溝改良	L=70m
柿崎区	鳶山線	直海浜	工事請負費 補償、補填及び賠償金	11,447 571	側溝改良 物件補償	L=173m 一式
	三ツ屋浜村 中線	三ツ屋浜	工事請負費	22,024	側溝改良	L=398m
	三ツ屋浜村 中2号線	三ツ屋浜	工事請負費	8,901	側溝改良	L=122m
	桃園線	馬正面	工事請負費 補償、補填及び賠償金	19,329 726	側溝改良 物件補償	L=249m 一式
大潟区	大潟 515 号 線	土底浜	工事請負費 補償、補填及び賠償金	4,096 852	交差点改良 物件補償	L=35m 一式
	大潟 620 号 線ほか	下小船津 浜	工事請負費	14,167	側溝改良	L=219m
	大潟 812 号 線	渋柿浜	工事請負費	7,127	側溝改良	L=100m
頸城区	北川線	潟口ほか	工事請負費 補償、補填及び賠償金	13,157 1,649	道路改良 物件補償	L=76m 一式
三和区	下田環状線	田	工事請負費	11,352	道路改良	L=96m
名立区	丸田中央甲 線	丸田	工事請負費	16,035	道路改良	L=46m

決算書 (P284～P285)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

◇令和6年度分

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	三ツ橋三田 新田線 (都市計画道路 黒井藤野新田線)	三田新田 ほか	報償費 780 工事請負費 125,879	草刈り 一式 道路築造 L=300m
	三ツ橋5号線	三ツ橋	委託料 7,722	測量設計 一式
	福橋3号線	福橋		
	福橋1号線	福橋		
	市之町1号線	高崎新田	工事請負費 11,369 公有財産購入費 1,075	道路改良 L=55m 用地取得 A=168 m <sup>2</sup>
	国府一丁目 4号線	国府一丁目	公有財産購入費 2,766 補償、補填及び賠償金 2,019	用地取得 A=123 m <sup>2</sup> 物件補償 一式
	有間川茶屋 ヶ原線	丹原ほか	委託料 3,550 公有財産購入費 1,177 補償、補填及び賠償金 43	用地測量・調査 一式 不動産鑑定 一式 物件調査 一式 修正設計 一式 用地取得 A=4,074 m <sup>2</sup> 物件補償 一式
	北本町春日 山町線 (踏切拡幅)	藤新田ほか	委託料 20,976	詳細設計 一式
	北本町春日 山町線 (歩道)	藤新田ほか	委託料 4,030	用地測量・調査 一式 不動産鑑定 一式 修正設計 一式
	上昭和町滝 寺線ほか	滝寺	工事請負費 16,163	側溝改良 L=230m
	黒田2号線	黒田	委託料 638 公有財産購入費 1,126 補償、補填及び賠償金 3,601	不動産鑑定 一式 修正設計 一式 用地取得 A=156 m <sup>2</sup> 物件補償 一式
	大和三南高 田線	南高田町 ほか	工事請負費 2,046	道路築造 一式 舗装新設 一式
大島区	梨ノ木線	大平	委託料 177 公有財産購入費 358	不動産鑑定 一式 用地取得 A=81 m <sup>2</sup>

決算書 (P284～P285)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

地区	路線名	施工地	主な執行額		内容
柿崎区	馬正面川井線	馬正面ほか	負担金補助及び交付金	2,463	合併施工負担金 一式
	川井村中線	川井	委託料	4,770	用地測量・調査 一式 修正設計 一式
	桃園線	馬正面	工事請負費	21,344	側溝改良 L=261m

○目標達成状況

- ・当初予算に係る7か所の工事のうち、市之町1号線ほか1か所は、降雪前の11月末までに完了したが、三ツ橋三田新田線ほか4か所は、関連事業との工程調整や用地取得に伴う地権者との協議に日数を要したことから繰越し等となった。
- ・国の補正予算活用分8か所の工事等については、令和7年3月末までに発注を行った。

【事業の成果】

- ・生活関連道路の整備を実施し、市民の安全な通行の確保及び日常生活における生活環境の改善を図ることができた。

〔道路改良 東町駅前線（東町ほか）〕



着手前



竣工

決算書 (P284～P285)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

〔道路築造 大和三南高田線（南高田町ほか）〕  
 ※令和6年11月20日 供用開始



着手前



竣工

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・関連事業との工程調整や用地取得に伴う地権者との協議等に日数を要したことで繰越しとなった箇所があったため、関係者との協議・調整等をできる限り早期に行うなど、事業の適切な進捗管理に努めていく。
- ・令和6年4月1日から、建設業においても働き方改革関連法が適用されており、発注の平準化や適正工期の確保のほか、週休2日適用工事（現場閉所）の推進などに引き続き取り組む。

**【執行残額について】**

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる委託料、工事請負費等の残 2,599

(単位：千円)

決算書 (P284～P287)	8款2項4目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
865,615	675,753	367,630		266,300	17,638 (繰越金)	24,185
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
188,428	1,434				1,434	

## 【目的】

- ・一般交通に支障を来さないよう、橋梁の損傷箇所の適切な修繕を行い、施設の長寿命化を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・橋梁299橋の定期点検を早期に発注し、11月末までに現場作業を完了する。このほか、横断歩道橋1橋の定期点検については、鉄道管理者と早期に協定を締結し、3月中旬までに完了する。
- ・修繕工事を早期に発注し、小規模橋梁14橋(橋長15m未満)については12月末までに、河川占用許可条件により非出水期での施工となる橋梁(15m以上)8橋については3月中旬までに完了する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(1月補正追加)

## ○実施内容、これまでの経過等

## ◇令和5年度繰越明許分(橋梁点検委託料)

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	直江津駅自由通路ほか (直江津駅線ほか)	東町ほか	委託料 7,522	横断歩道橋点検 一式

## ◇令和5年度繰越明許分(実施設計委託料)

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	雲郷橋 (本長者原上新町線)	上新町	委託料 5,575	実施設計 一式
	一本木橋 (戸野目下稻田線)	戸野目	委託料 4,073	
	小池橋 (小池1号線)	小池	委託料 4,820	

決算書 (P284～P287)	8款2項4目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	下桑曾根川橋 (上青野上五貫野線)	下吉野ほか	委託料 6,699	実施設計 一式
	春尾橋 (春尾橋線)	南本町三丁目ほか	委託料 4,321	
浦川原区	下横住橋 (横住安塚線)	横住	委託料 4,110	
大島区	棚岡大橋 (棚岡線)	棚岡	委託料 3,498	
	仁上橋 (仁上峠線)	仁上	委託料 2,959	
吉川区	宮下橋 (福平線)	道之下	委託料 3,433	
清里区	濁池橋 (梨平赤池線)	梨平	委託料 3,753	
三和区	神田橋 (島倉神田本郷線)	本郷ほか	委託料 3,101	

◇令和5年度繰越明許分(橋梁修繕工事)

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	東吉尾橋 (東吉尾1号線)	東吉尾	工事請負費 59,252	塗装塗替え 一式 高欄取替え 一式
	清浄橋 (清浄橋線)	高土町一丁目ほか	工事請負費 9,290	橋面防水 一式 伸縮装置取替え 一式
	往下橋 (東本町三・二丁目線)	東本町三丁目ほか	工事請負費 10,024	橋面防水 一式 伸縮装置取替え 一式
	笹川橋 (藤新田春日山町三丁目線)	藤新田一丁目ほか	工事請負費 19,169	橋面防水 一式 伸縮装置取替え 一式
	宮前橋 (上青野上五貫野線)	下吉野	工事請負費 990	断面修復 一式
	無名橋 (大淵東吉尾線)	東吉尾	工事請負費 785	断面修復 一式
	無名橋 (大淵東吉尾線)	東吉尾	工事請負費 1,371	断面修復 一式
	無名橋 (中ノ俣2号線)	中ノ俣	工事請負費 5,555	断面修復 一式
	無名橋 (藤巻岩木線)	藤巻	工事請負費 847	断面修復 一式
	別院大門橋 (南城町別院線)	本町二丁目ほか	工事請負費 2,420	断面修復 一式
	追分橋 (北本町春日山町線)	藤巻	工事請負費 924	断面修復 一式

決算書 (P284～P287)	8款2項4目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	無名橋 (中田原高田城址公園線)	南高田町ほか	工事請負費 1,408	断面修復 一式
安塚区	文道沢橋 (細野文道沢線)	細野	工事請負費 2,728	断面修復 一式
大島区	赤倉橋 (赤倉線)	岡ほか	工事請負費 340	舗装修繕 一式
牧区	長畑橋 (宇津俣府殿線)	宇津俣	工事請負費 7,910	塗装塗替え 一式 高欄取替え 一式
	吉坪橋 (吉坪本線)	吉坪ほか	工事請負費 38,986	橋面防水 一式 塗装塗替え 一式
柿崎区	砂川橋 (上下浜線)	江島新田	工事請負費 847	断面修復 一式
	下条橋 (柳ヶ崎直海浜線)	下条	工事請負費 43,616	伸縮装置取替え 一式 高欄取替え 一式
中郷区	大窪橋 (二本木風吹本手線)	二本木	工事請負費 2,244	断面修復 一式
板倉区	別所川橋 (戸狩松ノ木線)	稲増ほか	工事請負費 21,727	高欄取替え 一式
名立区	前田橋 (能生丸線)	瀬戸	工事請負費 20,171	橋面防水工 一式 塗装塗替え 一式
	折居橋 (峠折居線)	折居	工事請負費 30,593	伸縮装置取替え 一式 断面修復 一式
	須田川橋 (林の陰線)	杉野瀬	工事請負費 762	断面修復 一式
	花立一号橋 (花立線)	西蒲生田	工事請負費 393	断面修復 一式

◇令和6年度分(橋梁点検委託料)

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
大潟区	潟町歩道橋 (大潟329号線)	潟町	委託料 4,312	橋梁点検 1橋

◇令和6年度分(実施設計委託料)

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
板倉区	別所川橋 (上筒方線)	関田	委託料 3,431	実施設計 一式

決算書 (P284～P287)	8款2項4目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

◇令和6年度分(橋梁修繕工事)

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	笹川橋 (保健所東通線)	藤新田一丁目ほか	工事請負費(前払金) 19,700	断面修復 一式 塗装塗替え 一式
	無名橋 (石橋二丁目居多ヶ浜線)	石橋二丁目ほか	工事請負費 770	ひび割れ補修 一式
	無名橋 (国府一丁目3号線)	国府一丁目	工事請負費 1,298	断面修復 一式 ひび割れ補修 一式
柿崎区	宮前橋 (下条上直海線)	下条	工事請負費(前払金) 31,800	床版補修 一式 ひび割れ補修 一式
	池端橋 (上下浜線)	上下浜	工事請負費 963	断面修復 一式
	下条橋 (柳ヶ崎直海浜線)	下条	工事請負費 9,022	伸縮装置取替え 一式 高欄取替え 一式
頸城区	無名橋 (百間町鶴ノ木線)	鶴ノ木	工事請負費 693	ひび割れ補修 一式
	無名橋 (下吉新田線)	下吉	工事請負費 385	床版補修 一式
	無名橋 (下吉北団地5号線)	下吉	工事請負費 682	ひび割れ補修 一式
吉川区	新保橋 (東田中下中条線)	川崎	工事請負費 37,775	伸縮装置取替え 一式 塗装塗替え 一式
板倉区	別所川橋 (上福田新田線)	上福田新田ほか	工事請負費 73,429	ひび割れ補修 一式 塗装塗替え 一式
	平成橋 (上中島新田南中島線)	上中島新田ほか	工事請負費(前払金) 21,600	伸縮装置取替え 一式 塗装塗替え 一式
	大熊川橋 (関根南中島線)	横町ほか	工事請負費 82,933	伸縮装置取替え 一式 塗装塗替え 一式
	無名橋 (田井上川原線)	田井	工事請負費 825	断面修復 一式
	無名橋 (田屋北沖上沢田線)	田屋	工事請負費 1,298	断面修復 一式 ひび割れ補修 一式
	無名橋 (田屋東沖宮島線)	田屋	工事請負費 1,298	断面修復 一式 ひび割れ補修 一式
	無名橋 (下長嶺南方線)	長嶺	工事請負費 770	断面修復 一式
名立区	車路橋 (山口線)	車路ほか	工事請負費 19,864	伸縮装置取替え 一式 断面修復 一式
	金山橋 (須田線)	田野上	工事請負費 18,336	伸縮装置取替え 一式 断面修復 一式
	折居橋 (峠折居線)	瀬戸	工事請負費 4,525	伸縮装置取替え 一式 断面修復 一式

決算書 (P284～P287)	8款2項4目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

○目標達成状況

- ・橋梁 299 橋の定期点検について、297 橋は 3 月までに現場作業を完了したが、跨道橋 2 橋は国道の交通規制に関する協議に時間を要したことから年度内に完了できなかった。また、横断歩道橋 1 橋の定期点検は、鉄道管理者と 4 月に協定を締結し、3 月中旬までに完了した。
- ・当初予算に係る 24 橋の修繕工事のうち、17 橋は 3 月上旬までに完了したが、7 橋については工法の再検討や関係町内会と施工時期の調整に時間を要したことから繰越しとなった。
- ・国の補正予算を活用した修繕工事及び実施設計については、国の交付決定額が当初見込みを大幅に下回ったため、修繕工事 1 橋のみを令和 7 年 3 月末までに発注した。

【事業の成果】

- ・近接目視の点検により橋梁の状態を詳細に把握した上で、早期に措置が必要と診断された橋梁の修繕工事を実施し、橋梁の長寿命化及び安全性の確保を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、国・県から情報収集を行い、国の交付金や補正予算など特定財源の確保に努めながら事業の進捗を図っていく。
- ・橋梁の老朽化に伴う修繕費の増加を踏まえ、修繕工事や点検業務において、国が推奨する新技術を積極的に採用し、コスト縮減を図っていく。

【執行残額について】

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる委託料、工事請負費の残 1,434

(単位：千円)

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	消融雪施設管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
518,255	399,439	134,721	5,661	105,200	916 (繰越金等)	152,941
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
114,202	4,614			1,597	3,017	

## 【目的】

- ・消融雪施設の点検、清掃及び管理を行い、冬期間の円滑な道路交通の確保を図る。
- ・消融雪施設の修繕を行い、十分な機能を確保する。
- ・老朽化した消雪パイプ施設を更新し、消融雪機能を回復する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■消融雪施設管理 128,186      ■消融雪施設修繕工事 58,579

## ○令和6年度目標

- ・消融雪施設の冬期前点検、清掃、調整を早期に実施し、不具合が生じている送水管、散水管、電気設備等を特定する。
- ・点検で判明した消融雪施設の修繕工事を早期に実施し、降雪期までに完了する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・消融雪施設の冬期前点検、清掃、調整及び冬期間の保守管理を実施した。
- ・施設の機能を維持するため、冬期前点検により不具合が判明した箇所の修繕工事を実施した。

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	消融雪施設管理費		

・消融雪施設の管理延長 (単位：km)

地区	消雪パイプ	流雪溝	無散水融雪
合併前上越市	25.3	11.1	0.6
浦川原区	-	0.6	-
柿崎区	1.6	0.5	-
大潟区	1.0	-	-
頸城区	0.5	-	-
中郷区	22.2	5.1	-
板倉区	12.0	-	-
清里区	9.0	-	0.04
三和区	1.7	-	-
合計	73.3	17.3	0.64

・令和6年度の修繕件数 (単位：件)

地区	消雪パイプ	流雪溝	無散水融雪
合併前上越市	14	6	-
浦川原区	-	2	-
柿崎区	2	1	-
大潟区	-	-	-
頸城区	-	-	-
中郷区	11	1	-
板倉区	8	-	-
清里区	7	-	-
三和区	1	-	-
合計	43	10	-

○目標達成状況

- ・消融雪施設の冬期前点検、清掃、調整及び冬期間の保守管理を早期に実施し、不具合や故障を確認した箇所については、降雪期までに修繕するなど適切な維持管理に努め、冬期間の円滑な道路交通を確保することができた。

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	消融雪施設管理費		

■消雪パイプリフレッシュ工事等 211,781

○令和6年度目標

- ・消融雪施設整備計画に基づき、消雪パイプリフレッシュ工事を早期発注し、降雪期までに完了する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和6年度分

地区	路線名	施工地	執行額	内容
合併前 上越市	表寺線	寺町三丁目	工事請負費 73,462	消雪井戸更新 1か所
	仲町線ほか	仲町一丁目ほか	工事請負費 41,615	消雪パイプ更新 L=305m
中郷区	稲荷山坂本線	二本木	工事請負費 50,166	消雪井戸更新 1か所
清里区	馬屋字内線	馬屋	工事請負費 46,538	消雪井戸更新 1か所

(参考) 第三期 (R2～R6) 整備計画進捗状況

	全体	R2年度完了	R3年度完了	R4年度完了	R5年度完了	R6年度完了
路線数	14	3	3	2	2	1

※未完了の3路線については、第四期 (R7～R11) 整備計画に継続登載

○目標達成状況

- ・消融雪施設整備計画に基づき、消雪パイプリフレッシュ工事を早期発注し、降雪期までに完了することができた。

【事業の成果】

- ・消融雪施設の冬期前点検及び修繕を確実に実施するとともに、消融雪施設整備計画に基づき、老朽化した消融雪施設の更新を進め、冬期間の円滑な道路交通を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・老朽化する消融雪施設の増加により、故障や破損、能力低下が増えることが予想されることから、引き続き計画的に施設を更新していく必要がある。
- ・県条例による地下水採取規制区域の消雪パイプについては、地盤沈下を抑制するため、揚水量の縮減を図る再編計画を進めていく必要がある。

【執行残額について】

○入札差金

- ・消雪パイプリフレッシュ工事の入札差金 1,597

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる燃料費、委託料等の残 3,017

(単位：千円)

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,317,264	5,748,555	2,031,183	114	123,900	14,523 (譲入等)	3,578,835
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	568,709			540	568,169	

## 【目的】

- ・除雪機械による計画的、効率的な除排雪作業を実施し、冬期間における市道の円滑な交通を確保する。
- ・除雪機械が入れない狭い道路や高齢者宅前などを地域の住民が小型除雪機を使用して共同で除雪する場合、小型除雪機の購入代金の一部を補助することで、地域の共助による除雪を推進する。
- ・除雪作業の重要性が増す中、除雪機械作業の有資格者を増やすため、市道の除雪オペレーターの従事を希望する満61歳未満の者に対し、資格取得に係る経費の一部を補助し、除排雪作業に従事する人材を確保する。
- ・異常降雪等により一時的に市道除雪事業者が道路除雪作業を実施できない場合、緊急的に市道除雪を行った町内会等に対し報償金を支給し、地域が行う除雪活動を支援する。
- ・除雪路線に指定していない市道において、共助による除雪体制を維持するため、地域が行う除雪活動を支援する。
- ・ICT技術を活用した除雪支援システムの実効性の検証を行い、除雪支援システム導入による機械除雪作業の省力化・効率化と安全性の向上を目指す。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■市道除排雪事業 5,721,285

## ○令和6年度目標

- ・通常降雪時は除雪作業をおおむね午前7時前に完了させ、通勤通学時間帯の円滑な道路交通を確保する。異常降雪時は積雪状況や道路状況等に応じた適切かつ迅速な除排雪作業に努める。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・2月上旬及び下旬の2回にわたる猛烈な寒波の長期化の影響により、市道除排雪委託料に不足が見込まれたため、3回の補正予算の専決処分により増額を行った。
- ・除雪事業者の安定した経営を支援するため、これまで2回に分けて支払っていた固定費について、12月下旬に全額前払いを実施した。
- ・2月上旬からの大雪に伴い合併前上越市における雪捨て場の開設箇所を、令和5年度の4箇所から8箇所に増やし、効率的な排雪作業を実施した。
- ・計画的な除雪機械の更新と適切な点検整備及び修繕を行い、継続的な除雪体制を確保した。

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

・市道除排雪委託料

地区	春先 除雪	12月 支出	1月 支出	2月 支出	3月 支出	4月 支出	合計
合併前 上越市	375	268,269	94,974	135,458	1,106,775	192,790	1,798,641
安塚区	8,908	27,639	72,036	74,953	165,422	67,919	416,877
浦川原区	460	22,281	36,631	35,728	127,380	32,385	254,865
大島区	9,060	23,991	45,444	53,111	108,192	20,068	259,866
牧区	6,847	35,531	67,449	70,400	179,629	62,606	422,462
柿崎区	100	15,751	19,101	10,963	38,663	18,336	102,914
大潟区	0	14,273	5,434	7,223	45,121	10,744	82,795
頸城区	0	34,381	13,289	15,850	94,567	10,198	168,285
吉川区	399	15,374	15,112	19,053	59,459	12,372	121,769
中郷区	0	22,212	45,359	56,051	111,233	52,098	286,953
板倉区	15,440	54,726	76,160	81,766	203,857	83,916	515,865
清里区	3,433	17,860	24,141	28,369	92,314	33,732	199,849
三和区	0	37,720	18,388	19,673	114,168	13,480	203,429
名立区	0	11,168	11,297	15,569	54,093	5,931	98,058
合計	45,022	601,176	544,815	624,167	2,500,873	616,575	4,932,628

※春先除雪・・・当該年度の4月1日以降に行う機械除雪  
(冬期間通行止区間の開通除雪や堆雪場の除雪作業)

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

・除雪機械購入費

地区	除雪機械	規格	予定価格	契約額	落札率	契約業者
吉川区	除雪ドーザ 14t級	M	29,700	24,970	84.1%	コマツカスタマーサ ポート(株)上越支店
柿崎区	除雪ドーザ 14t級	M	29,700	24,057	81.0%	(株)サンコー
浦川原区	除雪ドーザ 14t級	M	29,700	25,520	85.9%	コマツカスタマーサ ポート(株)上越支店
合併前 上越市	除雪ドーザ 16t級	A	33,506	23,320	69.6%	頸北建機(有)
安塚区	除雪ドーザ 16t級	M	29,700	25,080	84.4%	(株)サンコー
安塚区	ロータリ除雪車 2.6m級	250kw	62,328	59,268	95.1%	(株)山崎サービス
大島区	ロータリ除雪車 2.6m級	250kw	62,328	58,938	94.6%	(株)山崎サービス
柿崎区	ロータリ除雪車 2.6m級	270kw	62,328	58,520	93.9%	(株)橋詰商会
柿崎区	ロータリ除雪車 2.6m級	270kw	62,328	58,520	93.9%	(株)橋詰商会
合併前 上越市	小形除雪車 1.3m級	90kw	27,302	25,784	94.4%	(株)山崎サービス
合計			428,920	383,977	89.5%	

※規格 (M:マルチプラウ) (A:アングリングプラウ)・・・排雪板の種類

※予定価格の算出方法・・・参考見積り徴取による最低価格

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

・備品修繕料

地区	支出	主な修繕内容
合併前上越市	83,164	冬期前の定期修繕、車検整備及び冬期中の緊急修繕、エッジ肉盛り修繕、タイヤチェーン肉盛り修繕、油圧ホース修繕、オイル漏れ修繕、マフラー修繕、バッテリー点検・交換、燃料メーター作動不良点検修繕、オーガ変速スイッチ等不良交換、エンジン不調点検、スピードメーター球切れ交換、雨漏り修繕、左マルチプラウシリンダーホース油漏れ修繕、キャブ右上ランプ不良交換、フロントワイパー動作不良点検修繕、エンジン始動不良点検修繕、ブザー・シュート作業灯等動作不良修繕、ラジエータサブタンク点検修繕、レボタコ動作不良修繕、スピードメーター動作不良修繕、ワイパーアーム動作不良修繕 等
安塚区	30,136	
浦川原区	20,509	
大島区	11,658	
牧区	15,142	
柿崎区	24,743	
大潟区	14,978	
頸城区	4,014	
吉川区	26,718	
中郷区	19,152	
板倉区	5,732	
清里区	11,830	
三和区	12,355	
名立区	3,870	
合計	284,001	

(参考) 除雪体制の概要 (全市)

項目	車道除雪					歩道除雪			
	市道延長 (km)	除雪延長 (km)	除雪率 (%)	除雪ドーザ (台)	ロータリ除雪車 (台)	歩道延長 (km)	除雪延長 (km)	除雪率 (%)	ロータリ除雪車 (台)
R5年度	2,831.5	1,769.5	62.5	354	64	295.6	158.9	53.8	64
R6年度	2,833.1	1,771.0	62.5	352	64	296.9	161.3	54.3	66
増減	1.6	1.5	0	△2	0	1.3	2.4	0.5	2

※除雪機械の台数は、市所有の除雪機械である貸与車と除雪事業者所有の除雪機械である委託車を合わせた台数

※歩道除雪のロータリ除雪車は、小形除雪車と小型除雪機を合わせた台数

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

○目標達成状況

- ・通常降雪時の除雪作業は、おおむね午前7時前に完了することができた。
- ・道路堆雪状況に応じて、適時適正な拡幅作業を実施するとともに、迅速な雪捨て場の開設及び排雪作業を実施し、円滑な道路交通の確保を図ることができた。

■小型除雪機購入費補助事業 800

○令和6年度目標

- ・広報上越等により積極的かつ早期に補助事業を周知し、降雪期までに事業を完了する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・申請のあった1団体に小型除雪機購入に要する経費の一部を支援した。
- ・補助実績

(単位：台)

地区	平成19年度から 令和5年度までの実績	令和6年度実績	合計
合併前上越市	37	-	37
安塚区	21	-	21
浦川原区	1	-	1
大島区	2	-	2
牧区	2	-	2
柿崎区	3	-	3
吉川区	4	1	5
清里区	2	-	2
名立区	9	-	9
合計	81	1	82

○目標達成状況

- ・市ホームページ、町内会長ハンドブック及び地区別除雪会議等を通じて補助制度の周知を図った。
- ・申請のあった1団体に対して、速やかに補助金交付決定通知を行い、降雪期までに事業を完了することができた。

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

■除雪オペレーター人材確保促進事業補助金 1,360

○令和6年度目標

- ・除雪事業者や建設業協会に補助事業の積極的な利用を促し、除雪オペレーターの担い手確保を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・補助金交付要件を満たした32人に、除雪機械運転資格の取得に要する経費の一部を支援した。

・補助実績

(単位：人)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
平成29年度から 令和5年度までの実績	23	41	24	8	4	-	100
令和6年度実績	6	10	5	5	5	1	32
合計	29	51	29	13	9	1	132

○目標達成状況

- ・補助金交付要件を満たした32人に、資格取得に要する経費の一部を補助し、除雪オペレーターの担い手確保に寄与することができた。

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

■緊急除雪作業報償金

○令和6年度目標

- ・除雪事業者及び関係機関と連携し、迅速で的確な除排雪作業を実施するが、緊急除雪作業報償制度を実施する場合には、町内会と連携を図り冬期道路交通の確保に努める。

○実施内容、これまでの経過等

- ・新たに7団体が加わり、事前登録団体数は260となった。
- ・事前登録団体数

(単位：団体)

地区	既登録団体数	令和6年度(新規)	合計
合併前上越市	167	4	171
安塚区	2	-	2
浦川原区	7	-	7
牧区	1	-	1
柿崎区	18	-	18
大潟区	9	-	9
頸城区	20	-	20
吉川区	14	-	14
板倉区	6	-	6
清里区	2	-	2
三和区	6	3	9
名立区	1	-	1
合計	253	7	260

○目標達成状況

- ・除雪事業者及び関係機関と連携し、迅速で的確な除排雪作業を行ったため、緊急除雪作業報償制度の実施に至らなかった。

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

■市道除雪作業報償制度 21,380

○令和6年度目標

- ・ 共助による除雪体制を維持し、冬期間の道路交通と安全な歩行空間を確保する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・ 交付決定した町内会などの団体に、除雪作業に要する経費の一部を支援した。

・ 交付実績

地区	交付決定数	延長 (m)	報償金額
合併前上越市	59	18,074	16,942
安塚区	1	225	686
大島区	1	82	139
牧区	1	50	130
柿崎区	5	476	236
大潟区	5	1,031	111
頸城区	5	851	809
吉川区	5	919	567
中郷区	1	90	211
板倉区	6	574	609
清里区	1	60	78
三和区	12	902	862
合計	102	23,334	21,380

(参考) 登録団体における交付例

団体名	除雪方法	除雪延長 (m)	除雪回数 (回)	除雪単価 (円/m・回)	報償金額 (円)
A 町内会	小型除雪機	225	61	50	686,000
B 町内会	小型除雪機	862	13	50	560,000
C 町内会	消雪パイプ	356	21	50	373,000
D 町内会	小型除雪機	555	21	50	2,732,000
	消雪パイプ	377			
	消雪ホース	1,670			

※報償金額は、千円未満の端数を切り捨て

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

○目標達成状況

- ・交付決定した102の団体への報償金の支給により、地域の共助による除雪体制を支援し、冬期間の道路交通と安全な歩行空間を確保することができた。

■除雪支援システム実証モデル事業 3,730

○令和6年度目標

- ・ロータリ除雪車に除雪支援システムを装備して実効性を評価し、除雪現場の効率化・安全性向上に期待が持てるICT技術の導入を推進する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和6年度は、これまで導入した除雪支援システムの開発メーカーと異なるメーカー製のシステムを、ロータリ除雪車1台と小形除雪車1台に導入し検証を行った。

年度	検証場所	内容
令和3年度	合併前上越市	春日地区の車道除雪を行う除雪ドーザ1台に搭載
令和4年度	合併前上越市	高田地区の車道除雪を行う除雪ドーザ1台に搭載
	浦川原区	中山間地域の車道除雪を行う除雪ドーザ1台に搭載
令和5年度	令和4年度と同一場所	令和4年度に除雪支援システムを搭載した除雪ドーザ2台に、夏場画像を追加
令和6年度	合併前上越市 名立区	除雪支援システムを、合併前上越市の小形除雪車に1台、名立区のロータリ除雪車に1台搭載

○目標達成状況

- ・除雪支援システムの検証を行った結果、効率化及び安全性に対する効果を確認できた。

【事業の成果】

- ・効率的な除排雪計画の策定と除排雪体制の確保とともに、老朽化した除雪機械の更新や速やかな修繕、消耗品の交換を行い、冬期間の道路交通を確保することができた。
- ・除雪支援システム機器を搭載した除雪機械で除雪作業を行い、当該システムの実効性を確認するとともに、交通量の少ない中山間地域の市道において、除雪車を一人で操縦するワンオペ除雪に取り組み、除雪オペレーター不足の解消に向けた検証を進めることができた。
- ・除雪機械が入れない狭い道路や高齢者宅前などの除雪を行う団体に、小型除雪機購入費の一部を補助するとともに、除雪路線に指定していない市道において、除雪作業を行う町内会等へ報償金を支給し、地域における共助の除雪体制の維持を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・除雪オペレーターについては、高齢化や新たな担い手不足の進行が見込まれることから、持続可能な除雪体制の構築に向けて、引き続き、人材確保に取り組む必要がある。
- ・高度な技術力を必要とする除雪業務の効率化、省力化と安全確保のため、ICT技術及びDX化を推進する必要がある。
- ・少雪時において、除雪業務が生業として成り立たないことから、安定的な除雪体制を維持していくため、待機補償料の見直しなど、新たな契約方法を検討する必要がある。

決算書 (P286～P287)	8款2項5目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

**【執行残額について】**

- 入札差金
  - ・施設管理委託料、降雪予報情報提供業務委託等の入札差金 540
- その他
  - ・当初の見込みを下回ったことによる委託料、報償金等の残 568,169

(単位：千円)

決算書 (P288～P289)	8款2項6目 克雪総合計画費	所管課等	建築住宅課
事業名	克雪住宅推進費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,748	8,942	2,428	4,047			2,467
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	5,806				5,806	

## 【目的】

- ・屋根雪下ろしの負担軽減を図るため、住宅の克雪化を支援するとともに、屋根雪下ろしに起因する転落事故を未然に防止するため、命綱固定アンカー等の設置普及を促進する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・克雪住宅の増加や命綱固定アンカー等の設置普及に向け、広報上越や市ホームページ等を活用して制度の周知を図るとともに、降雪前に工事が完了できるよう申請者に指導する。

## ○実施内容、これまでの経過等

## ■克雪すまいづくり支援事業補助金

- ・令和6年度の概要

受付期間	令和6年4月1日(月)～11月29日(金)
補助件数等	13件：3,762千円
補助金額等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・融雪式：440千円(補助基本額660千円×2/3上限)</li> <li>・耐雪式、落雪式等：330千円(補助基本額660千円×1/2上限)</li> </ul> ※要援護世帯は110千円の加算

- ・補助金交付実績

区分 年度	融雪式		耐雪式、落雪式等		合計	
	件数	補助額	件数	補助額	件数	補助額
令和5年度	0	0	21	6,116	21	6,116
令和6年度	1	440	12	3,322	13	3,762

決算書 (P288～P289)	8款2項6目 克雪総合計画費	所管課等	建築住宅課
事業名	克雪住宅推進費		

■屋根雪下ろし命綱固定アンカー等設置費補助金

- ・令和6年度の概要

受付期間	令和6年4月1日(月)～11月29日(金)
補助件数等	56件：5,141千円
補助金額等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護世帯：補助率 2/3 (上限額 1棟当たり 100千円)</li> <li>・一般世帯：補助率 1/2 (上限額 1棟当たり 100千円)</li> </ul>

- ・補助金交付実績

区 分 年 度	要援護世帯		一般世帯		合 計	
	件 数	補助額	件 数	補助額	件 数	補助額
令和5年度	27	2,600	15	1,321	42	3,921
令和6年度	40	3,776	16	1,365	56	5,141

- ・補助金の周知では、パンフレットを作成し、市内の屋根雪下ろし除雪協力事業者に配布するとともに、PRのCMを木田庁舎1階などの公共施設等のデジタルサイネージにおいて放映した。

○目標達成状況

- ・広報上越や市ホームページへの掲載、パンフレットの配布により事業の周知を進め、降雪前に克雪住宅の整備を13件、命綱固定アンカー等の設置を56件支援した。

【事業の成果】

- ・広報上越やパンフレットの配布等を通じて事業の周知を行い、克雪住宅の整備及び命綱固定アンカー等の設置を支援することで、雪下ろしの負担軽減や屋根雪下ろしに伴う転落の危険性の低減を図り、冬期間の安全・安心な生活の確保に寄与することができた。

決算書 (P288～P289)	8款2項6目 克雪総合計画費	所管課等	建築住宅課
事業名	克雪住宅推進費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・住宅の克雪化については、所有者の判断による対策であるため、今後も広報上越や各種イベント等を通じて市民への事業の周知に努めていく。
- ・命綱固定アンカー等の設置支援について、事業の認知度を更に高め、引き続き普及促進に努めていく。

【執行残額について】

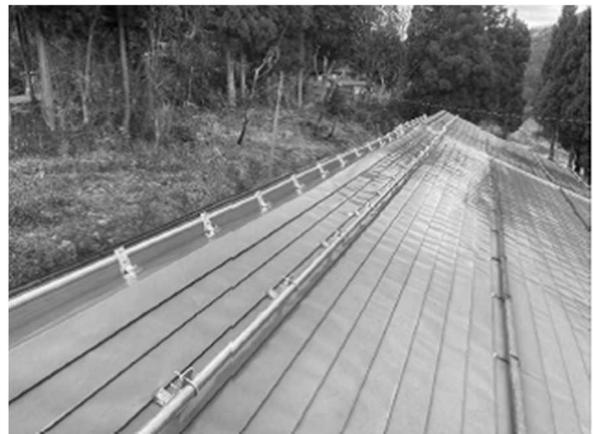
○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる補助金等の残 5,806

[屋根雪下ろし命綱固定アンカーの設置例]



屋根馬単管型



棟部単管型

(単位：千円)

決算書 (P288～P289)	8款3項1目 河川総務費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	河川管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
333,795	231,042	1,218	18,469	181,600	9 (繰入)	29,746
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
97,367	5,386			1,696	3,690	

## 【目的】

- ・河川及び河川公園の機能を適切な状態に保つよう維持管理を行うとともに、増水時には排水樋門や排水ポンプ等について適確な運転操作を実施し、内水被害の防止に努める。
- ・また、地元関係団体等の活動を支援し、河川改修の促進や環境美化の向上を図る。
- ・河川に堆積している土砂の撤去や樹木の伐採を実施し、流下能力の確保を図る。
- ・河川の護岸崩落防止対策などを実施し、災害の発生予防を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■河川維持修繕・委託業務等 48,697

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・樋門等維持管理委託  
関川、保倉川などの市内104か所ある排水樋門・排水ポンプ等について、地元町内会等と連携し、維持管理を実施した。
- ・河川等維持管理委託  
市管理河川及び河川公園等市内39か所において、除草や清掃、堆積土砂の撤去等を実施した。
- ・河川等維持工事  
市管理河川等8か所において、崩落した護岸の復旧工事等を実施した。
- ・各種協議会等負担金  
新潟県河川協会を始め、各河川の改修期成同盟会や環境整備協議会へ負担金を支出した。

## ■緊急しゅんせつ推進事業 24,247

## ○令和6年度目標

- ・工事については、早期に発注し、12月末までに完了する。

決算書 (P288～P289)	8款3項1目 河川総務費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	河川管理費		

○実施内容、これまでの経過等

地区	河川名	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	鎮守谷川	小池	工事請負費 819	堆積土砂撤去 L=16m
	国府上沢川	国府二丁目	工事請負費 495	堆積土砂撤去 L=33m
	旧桑曾根川	東中島ほか	工事請負費 17,236	伐木 L=493m
	小滝川	西山寺ほか	工事請負費 1,207	堆積土砂撤去 L=10m
浦川原区	円行寺川	横住	工事請負費 1,980	堆積土砂撤去 L=77m
清里区	雁平川	上田島	工事請負費 2,147	堆積土砂撤去 L=160m
名立区	無名川	東蒲生田	工事請負費 363	堆積土砂撤去 L=100m

○目標達成状況

- ・工事7か所のうち、5か所は12月末に工事を完了させることができた。残る2か所は令和7年3月までに完了させ、流下能力の確保を図った。

■緊急自然災害防止対策事業 152,440

○令和6年度目標

- ・工事については、関係機関と施工時期等を調整し、年度内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

地区	河川名	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	無名川	儀明	委託料 1,181 工事請負費(前払金) 3,400	測量、実施設計 一式 護岸工 L=20m
	無名川	中門前一丁目	委託料 1,827	測量、実施設計 一式
安塚区	無名川	切越	委託料 1,426	用地測量、用地調査 一式
	無名川	坊金	委託料 781 工事請負費 5,017	測量、実施設計 一式 護岸工 L=7m
	無名川	大原	委託料 1,042 工事請負費 2,624	測量、実施設計 一式 水路改良 L=30m
大島区	無名川	大平	工事請負費 5,699	水路改良 L=24m
	無名川	菖蒲	委託料 1,287 工事請負費(前払金) 4,400	測量、実施設計 一式 水路改良 L=51m
牧区	無名川	山口	委託料 1,276	測量、実施設計 一式

決算書 (P288～P289)	8款3項1目 河川総務費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	河川管理費		

地区	河川名	施工地	主な執行額	内容
板倉区	ロンデ川	久々野	工事請負費 2,145	水路改良 L=39m
	濁川	関田	工事請負費 3,850	護岸工 L=3m
清里区	無名川	梨平	工事請負費 3,146	水路改良 L=17m
	鶯沢川	上中条	工事請負費 1,976	護岸工 L=3m
三和区	錦川	井ノ口	工事請負費 26,452	護岸工 L=129m
		錦	工事請負費(前払金) 11,200	護岸工 L=45m
	代官免川	島倉	工事請負費 9,978	護岸工 L=30m
		島倉ほか	工事請負費 39,633	護岸工 L=201m
	江象川	大	工事請負費 21,055	護岸工 L=94m
名立区	庄平川	名立小泊	工事請負費 3,045	水路改良 L=9m

○目標達成状況

- ・工事15か所のうち、12か所は年度内に完了させることができた。残る3か所については工事用道路の借地に伴う地権者との協議に日数を要したことから繰越しとなった。

■地域独自の予算事業 688

- ・青田川桜並木整備と環境啓発事業(高田区)

【事業の成果】

- ・樋門の操作・維持管理を地元町内会等に委託し、豪雨時の内水被害を防止するための体制を確保することができた。
- ・市管理河川及び河川公園等について、適切な維持管理により良好な状態を保つことができた。
- ・地元同盟会等と連携し、河川整備事業等の促進に向けた要望活動を国、県に対し行った。
- ・しゅんせつ工事や護岸の崩落防止対策工事などを実施し、河川の流下能力の確保を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・河川管理者や地元町内会と連携しながら、引き続き、除草等の実施による河川環境を維持するとともに、増水時の排水樋門及び排水ポンプの適確な運転操作を実施し、内水被害の防止に努めていく。
- ・市管理河川について、堆積土砂の撤去や護岸の修繕等を適切に実施し、流下能力の確保に努めていく。
- ・農繁期や他事業との工程調整を伴う箇所については、関係者と早期に協議を進め、事業の適切な進捗管理に努めていく。

決算書 (P288～P289)	8款3項1目 河川総務費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	河川管理費		

【執行残額について】

- 入札差金
  - ・測量設計委託料等の入札差金 1,696
- その他
  - ・当初の見込みを下回ったことによる工事請負費、委託料等の残 3,690

〔河川等維持工事 道田川（安江地内）〕



着手前



竣工

〔災害防止対策工事 代官免川（三和区島倉ほか地内）〕



着手前



竣工

(単位：千円)

決算書 (P288～P291)	8款3項1目 河川総務費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	砂防事業費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
16,175	15,601		13,644	1,100		857
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	574				574	

## 【目的】

- ・ 人家15戸以上の地すべり指定地のうち、地形地質的に地すべり発生の危険性が大きい区域において巡視活動を行い、地すべりの兆候や土砂の崩落を早期に発見し、土砂災害を未然に防止する。
- ・ 土砂災害に対する啓発を目的とした地すべり資料館（板倉区猿供養寺地内）について、新潟県から委託を受けて施設の維持管理を行う。
- ・ 法面崩壊のおそれがある急傾斜地（中郷区江端地区）において、斜面の安定を図るため、法面対策を実施し、土砂災害を未然に防止する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・ 地すべり巡視業務 10,813  
市内110か所の地すべり危険区域において、地すべりの前兆や崩落箇所の早期発見のため、94人の地すべり巡視員を配置し、年間26日の巡視活動を実施した。
- ・ 地すべり資料館の維持管理 3,078  
土砂災害に対する啓発が目的の地すべり資料館について、新潟県から委託を受けて維持管理を実施した。  
内容：管理人報酬、光熱水費、施設管理(清掃等)、浄化槽保守・消防設備点検ほか
- ・ 急傾斜地崩壊対策事業負担金 1,102  
新潟県が主体となり実施する急傾斜地崩壊対策事業について、市負担金を支出した。

## 【事業の成果】

- ・ 地すべりの兆候や崩落の早期発見のため、地すべり巡視活動を実施したことにより、土砂災害の未然防止や被害の軽減を図った。
- ・ 地すべり資料館を適切に維持管理したことにより、快適に施設を利用できる環境を提供することができた。
- ・ 中郷区江端地区の急傾斜地崩壊対策事業では、土砂災害を未然に防止するため、新潟県が実施する事業費の一部を負担し、事業の進捗を図った。

決算書 (P288～P291)	8款3項1目 河川総務費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	砂防事業費		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・市内には多くの地すべり地域が存在していることから、市民の生命や財産を守るため、引き続き巡視活動による地すべりの兆候の早期発見に努めていく。

**【執行残額について】**

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる委託料等の残 574

(単位：千円)

決算書 (P290～P291)	8款3項1目 河川総務費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	保倉川放水路沿川まちづくり事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,564	9,359				9,020 (繰越金)	339
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	205				205	

**【目的】**

- ・保倉川放水路整備に伴う地域の懸念事項に対応するため、地域コミュニティへの影響をできる限り軽減するためのまちづくり事業を実施し、保倉川放水路の整備促進を図る。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和6年度目標

- ・国の保倉川放水路検討の進捗に合わせて、地域住民と話し合いを行いながら、沿川地域のまちづくり検討を進め、まちづくり全体計画の素案を作成する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・令和5年度繰越明許分

項目	金額	内容
基本構想委託料	9,020	保倉川放水路沿川地域のまちづくり検討

## ○目標達成状況

- ・保倉川放水路沿川地域のまちづくり検討では、まちづくりの課題や検討項目について、地元の意向を把握するための意見交換を行った。全体計画の素案作成は、国が行う具体的な施設検討の進捗を踏まえて、引き続き検討を進めていくこととした。

**【事業の成果】**

- ・保倉川放水路整備に伴う地域の懸念事項に対応するため、地域分断の影響を出来る限り軽減するための道路ネットワークなどの検討を行った。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・国の保倉川放水路検討の進捗に合わせて、引き続き、沿川住民と話し合いを重ねながら、まちづくりの検討を進めていく。
- ・保倉川放水路への津波の遡上や環境影響を心配する声が多く寄せられていることから、今後も国と連携して、丁寧に対応策の検討を進めていく必要がある。

決算書 (P290～P291)	8款3項1目 河川総務費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	保倉川放水路沿川まちづくり事業		

【執行残額について】

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる旅費、消耗品費等の残 205

(単位：千円)

決算書 (P292～P293)	8款5項3目 公園費	所管課等	都市整備課
事業名	都市公園整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
104,542	90,562	44,163		31,300	8,888 (繰越金)	6,211
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
13,596	384			283	101	

## 【目的】

- ・利用者が安全・安心に利用でき、賑わいを創出する施設整備を推進する。
- ・利用者の安全・安心に配慮した施設整備を推進する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■高田城址公園整備事業 67,823

## ○令和6年度目標

- ・内堀護岸更新工事を早期に発注し、11月末までに完了する。
- ・芝生広場照明施設更新に伴う照明設備撤去工事について、利用者への影響が少なくなる10月以降に実施できるよう発注する。

## ○実施内容、これまでの経過等

## ◇令和5年度繰越明許分

公園名	種別	実施内容
高田城址公園	芝生広場照明更新	実施設計業務 一式
	内堀護岸更新	更新(その2)工事 L=3m

## ◇令和6年度分

公園名	種別	実施内容
高田城址公園	内堀護岸更新	更新工事 L=27m
	芝生広場照明更新	照明設備撤去工事 N=7基

## ○目標達成状況

- ・内堀護岸更新工事については、10月末までに現場を完了することができた。
- ・芝生広場の照明設備撤去工事については、冬期間の施工により、公園利用者への影響を最小限に抑えることができた。

決算書 (P292～P293)	8款5項3目 公園費	所管課等	都市整備課
事業名	都市公園整備事業		

■都市公園整備事業 22,739

○令和6年度目標

- ・公園施設更新工事を早期に発注し、11月末までに完了する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(1月補正追加)

○実施内容、これまでの経過等

◇令和5年度繰越明許分

- ・遊具更新撤去工事

地区	公園名	施工地	実施内容
合併前 上越市	戸野目公園	平成町	ブランコ
	御館公園	五智一丁目	ブランコ
	昭和町公園	昭和町二丁目	鉄棒
	国府公園	五智新町	シーソー
	北本町公園	土橋	鉄棒
	池之原公園	子安	ジャングルジム
	春日野第二公園	春日野二丁目	滑り台、シーソー
	石橋御館川公園	石橋二丁目	シーソー
	上源入ふれあい公園	上源入	滑り台
頸城区	南川2号公園	上吉	滑り台
大潟区	土底浜駅南公園	土底浜	鉄棒

◇令和6年度分

- ・公園施設更新撤去工事

地区	公園名	施工地	実施内容
合併前 上越市	高田城址公園	本城町	六角柱電気設備更新工事 N=9基
			第一水門更新工事 一式
	五智公園	五智六丁目	照明灯更新工事 N=2基
	毘沙門公園	五智一丁目	照明灯更新工事 N=1基
	御館公園	五智一丁目	照明灯更新工事 N=1基

決算書 (P 292～P 293)	8 款 5 項 3 目 公園費	所管課等	都市整備課
事業名	都市公園整備事業		

○目標達成状況

- ・当初予算に係る工事のうち4か所は、11月末までに現場を完了することができたが、高田城址公園第一水門更新工事は、水門の製作に時間を要したことから、12月の現場完了となった。
- ・国の補正予算活用分の遊具更新撤去工事については、令和7年3月に発注することができた。

【事業の成果】

- ・都市公園施設長寿命化計画に基づき、早期に措置が必要な遊具の更新工事を実施したことにより、利用者の安全を確保できた。また、高田城址公園は内堀護岸の更新や芝生広場照明設備の撤去により、安全性や利便性の向上を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・遊具等の公園施設は、老朽化の進行等により更新の必要性が高まることから、来園者が安全・安心に利用できるよう計画的に施設の更新を行っていく。また、広く多くの来園者が集う総合公園においては、利用者のニーズに合った整備を計画的に実施し、憩いの空間を創出する。

【執行残額について】

○入札差金

- ・遊具更新撤去工事等の入札差金 283

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる工事請負費の残 101

〔都市公園整備事業〕



遊具更新（南川2号公園）

〔高田城址公園整備事業〕



内堀護岸更新（高田城址公園）

(単位：千円)

決算書 (P292～P295)	8款5項3目 公園費	所管課等	都市整備課
事業名	公園管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
221,048	213,572		369		28,736 (寄附金等)	184,467
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	7,476			97	7,379	

## 【目的】

- ・都市公園等の維持管理を適切に行い、良好な環境を提供する。
- ・高田城址公園内の桜や松を健全な状態で維持する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■都市公園等の維持管理事業 196,375

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・都市公園等の除草、清掃、樹木の管理(剪定、冬囲い等)、施設の点検及び修繕を実施した。
- ・町内会等との協働によるパークパートナーシップ協定を締結した公園(137か所)では、町内会等が除草、清掃、施設の点検を実施した。

地区	管理公園数(箇所)		管理面積(ha)	
		うちパークパートナーシップ協定締結		うちパークパートナーシップ協定締結
合併前上越市	140	104	238.1	34.0
柿崎区	3	1	13.9	0.4
大潟区	28	28	11.8	5.1
頸城区	5	4	3.2	1.6
合計	176	137	267.0	41.1

- ・交通公園のゴーカートコース内の誘導サイン及び日よけ施設の更新、待機所に上越市産材木製ベンチ8基を設置した。

決算書 (P 292～P 295)	8 款 5 項 3 目 公園費	所管課等	都市整備課
事業名	公園管理費		

- ・交通公園のゴーカートを事故なく運行した。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数	23,757 人	29,362 人	32,289 人	29,535 人	30,025 人

(運行日) 4 月から 11 月の土曜日、日曜日、祝日、振替休日

7 月 25 日から 8 月 25 日の間は月曜日を除く毎日 (令和 3 年度はゴーカートコース橋梁更新工事のため 10 月末まで運行)

- ・市内 12 か所のこどもプールを事故なく運営した。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数	6,078 人	6,676 人	4,731 人	3,564 人	5,012 人

H12 36,505 人 (利用者ピーク)

(開設日) 7 月 25 日から 8 月 25 日の間

定休日は毎週火曜日 6 か所、木曜日 6 か所、8 月 13 日から 16 日は 12 か所

※令和 6 年度は、開設計画 28 日間のうち、開設は 25 日間 (気温 35℃以上の場合は中止)

#### ■高田城址公園樹木保守管理事業 16,927

○実施内容、これまでの経過等

- ・高田城址公園桜長寿命化第二期計画に基づき、桜の枝の剪定や土壌改良などを行うとともに計画的な世代更新を図るため、伐採や植樹を実施した。また、市民ボランティア「桜プロジェクト J」とともに施肥 (お礼肥え) など、桜の保全活動を実施した。
- ・公園内の松に、松くい虫防除対策として薬剤の樹幹注入を実施した。

#### ■地域独自の予算事業 270

- ・五智公園の環境保全、有効活用事業 (直江津区)

#### 【事業の成果】

- ・市民の憩いと交流の場として、安心して公園を利用できる環境を提供することができた。
- ・高田城址公園桜長寿命化第二期計画に基づく取組により、生育の健全化と計画的な世代更新を図った。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・都市公園の約 4 割が開設から 30 年を経過しており、環境や材質の耐久性など様々な要因により施設の経年劣化が広域的に発生していることから、損傷の程度に応じて施設の使用を禁止することとしている。このことから、施設の計画的な更新はもとより、定期点検を今後も継続するとともに、損傷箇所を把握した時は、迅速に安全対策を実施する。
- ・令和 6 年度をもって運営を終了したこどもプールについては、プール跡地に関し地域の利用ニーズに応じた公園への再整備を前提として、地元町内会との協議を継続する。

決算書 (P 292～P 295)	8 款 5 項 3 目 公園費	所管課等	都市整備課
事業名	公園管理費		

【執行残額について】

- 入札差金
  - ・公園管理委託料等の入札差金 97
- その他
  - ・当初の見込みを下回ったことによる報酬、共済費等の残 7,379

〔公園施設修繕・更新工事〕



たにはま公園 四阿修繕工事



高田城址公園照明灯更新工事

(単位：千円)

決算書 (P294～P295)	8款5項4目 市街地整備費	所管課等	都市整備課
事業名	市街地整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
17,445	4,806	413			3,821 (繰入金)	572
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	12,639		21		12,618	

## 【目的】

- ・人口減少社会の中にあっても持続可能な都市を目指し、定住人口の増加に向けた取組により、まちなか居住を推進する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■まちなか居住推進事業 4,234

## ○令和6年度目標

- ・高田地区について、モデル地区から、本事業地区となる「まちなか居住推進地区」へ本格的に移行するため、当該推進地区の増加に向けた取組を推進する。
- ・直江津地区のモデル地区について、当該推進地区の認定に向かうよう、まちづくりに関する地域の機運を醸成する。

## まちなか居住推進地区(認定済)

地区名	町内会名
高田地区	大町五丁目、南本町三丁目

## モデル地区

地区名	町内会名
直江津地区	あけぼの、天王町、福永町

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・まちなか居住の取組を持続的に推進するため、誘導重点区域内の全町内会を対象とした取組報告会や個別相談を実施したほか、地域住民へのニュースレターの発行や小学校への出前授業を行うなど、まちづくりの機運醸成を図った。
- ・モデル地区等を中心に現地に足を運び、町内会と協働してまちなか居住推進地区の認定に向けた検討を進めた。
- ・狭あい道路や町家特有の住みづらさなど、まちなか居住が進まない根幹的な課題解決に向けて、地域住民と意見交換会を行った。

決算書 (P 294～P 295)	8 款 5 項 4 目 市街地整備費	所管課等	都市整備課
事業名	市街地整備事業		

・地域の課題解決に要する経費の一部を補助した。(まちなか居住推進事業補助金)

地区	区分	補助率：限度額	実施件数	補助金額
高田	雁木通りの街なみ形成支援	5/6：雁木・雁木下 歩行面は 300 千円/m	1	1,033
直江津	空き家の片付け支援	1/2：200 千円	2	236
	住宅のリフォーム支援	1/2：1,300 千円	1	1,300
	空き店舗等の利活用支援	1/2：1,000 千円	1	1,000
合計			5	3,569

○目標達成状況

- ・高田地区について、まちなか居住推進地区の新たな認定に至らなかったが、旧モデル地区の町内会を中心に、認定に向けた検討を進めた。
- ・直江津地区のモデル地区について、モデル事業や個別相談を通じて、まちづくりに関する地域の機運醸成を図り、まちなか居住推進地区の認定に向けた具体的な検討を進めた。

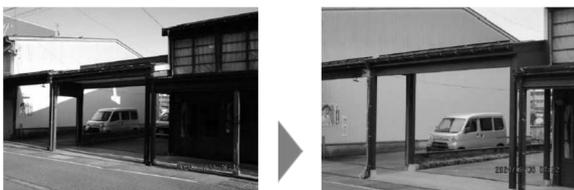
■地域独自の予算事業 572

- ・雁木の景観保全と住民交流推進事業（高田区）

【事業の成果】

- ・まちなか居住推進地区の認定では、直江津地区のモデル地区である天王町と福永町の2つの町内会において具体的な検討が進められ、認定申請に向けたまちづくりの方針案が作成された。
- ・高田地区では、雁木通りの街なみ形成支援を通じて雁木や街並みの保全が促進され、地域住民のシビックプライド向上に寄与した。
- ・直江津地区では、住宅リフォーム支援を通じて子育て世代が新たに居住を開始したほか、空き店舗の利活用支援により、1階部分の店舗営業に加えて、2階を住居として活用することで交流人口と定住人口の増加に繋がった。
- ・また、空き家の片付け支援では、事業実施後に利活用者が見つかり、空き家の解消が図られた。

[雁木通りの街なみ形成支援]



※街なみ形成によるシビックプライドの向上  
(高田地区)

[住宅のリフォーム支援]



※子育て世代が新たに居住  
(直江津地区)

決算書 (P 294～P 295)	8 款 5 項 4 目 市街地整備費	所管課等	都市整備課
事業名	市街地整備事業		

〔空き店舗等の利活用支援〕



※1 階を店舗、2 階を住居として活用  
(直江津地区)

〔空き家の片付け支援〕



※片付けをきっかけに次の利活用者に引継ぎ  
(直江津地区)

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・まちなか居住推進地区の認定をモデル地区以外にも広げていくため、これまでの取組に加えて、居住の形態やまちづくりの担い手確保など、各町内会が抱える個別の課題に対応していく必要がある。
- ・まちなか居住の更なる推進に向け、これまでの取組に加えて、狭あい道路や町家特有の住みづらさの解消など、インフラ面の改善に注力していく必要がある。

**【執行残額について】**

- 事業未実施
  - ・審議会の開催を要する申請案件がなかったことによる残 21
- その他
  - ・当初の見込みを下回ったことによる補助金等の残 12,618

(単位：千円)

決算書 (P296～P297)	8款7項1目 住宅管理費	所管課等	建築住宅課
事業名	公営住宅管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
144,014	140,040		30,554		109,486 (使用料等)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,974			3,790	184	

## 【目的】

- ・公営住宅の施設・設備が常に良好な状態となるよう適正な維持管理を行い、入居者が安全・安心に暮らすことができる居住環境を提供する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・施設及び設備の修繕等について、引き続き迅速な対応に努める。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・施設の修繕に要した経費

実施項目	実施内容等	執行額
住宅の建具、給排水設備、電気設備等の修繕・改修	一般修繕	586件
	緊急修繕	129件
	入居前修繕	49件
畳入替え	市営三和(神明)住宅E棟(三和区)	2戸
	市営メゾン山崎住宅(浦川原区)	8戸
	深沢特定公共賃貸住宅(大島区)	8戸
	メゾン山崎特定公共賃貸住宅(浦川原区)	4戸
	板尾特定公共賃貸住宅(安塚区)	5戸
	安塚特定公共賃貸住宅(安塚区)	2戸
住宅用火災警報器	市営南新町住宅ほか	382個
合計		71,672

決算書 (P296～P297)	8款7項1目 住宅管理費	所管課等	建築住宅課
事業名	公営住宅管理運営費		

・安全・安心を確保するための維持管理経費

実施項目	実施内容等	執行額
消防設備点検業務委託	県営今泉住宅1号棟ほか67棟	13,861
エレベーター監視点検業務委託	市営子安住宅1号棟ほか9棟	6,772
自動ドア保守点検、L S Aシステム点検業務委託	自動ドア … 市営子安住宅1号棟ほか2棟 L S Aシステム※ … 市営子安住宅1・2号棟 … 県営安江住宅D・E号棟	384
遊具点検、貯水槽・浄化槽管理等業務委託	遊具 … 県営今泉住宅ほか5箇所 貯水槽 … 市営南新町住宅1号棟ほか31棟 浄化槽 … 市営大島住宅等（空室のみ）	3,869
市営住宅定期点検業務委託	市営中通住宅1号棟ほか10棟	1,727
合 計		26,613

※L S Aシステム … 単身高齢者等の入居者を対象とした、生活援助員（ライフサポートアドバイザー：略称L S A）による支援と、緊急時に作動する通報機器を含めた支援システム

・その他維持管理に要した経費

実施項目	実施内容等	執行額
会計年度任用職員の報酬、手当、共済費等	公営住宅維持管理員 2人 公営住宅窓口業務等職員 2人	8,733
修繕料	維持管理等業務用車両修繕	718
委託料	公営住宅システムサポート業務委託 公営住宅等休日夜間等緊急対応業務委託 住宅管理人委託45人 など	15,933
消耗品	粉末式消火器（入替） など	2,101
保険料、使用料及び賃借料等	公営住宅火災共済掛金、公営住宅施設賠償責任保険料、土地借上料 など	14,270
合 計		41,755

決算書 (P296～P297)	8款7項1目 住宅管理費	所管課等	建築住宅課
事業名	公営住宅管理運営費		

○目標達成状況

- ・故障、不具合等への対応を迅速に行い、入居者の安全・安心を確保することができた。

【事業の成果】

- ・公営住宅の施設及び設備の迅速かつ適切な維持管理に努め、良好な状態を維持することで、入居者が安全で安心して暮らすことができる居住環境を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・入居者へ安全で安心して暮らすことができる居住環境を提供するため、計画的な修繕のほか、定期点検の結果や入居者からの声を踏まえ、修繕を適宜適切に行っていく。

【執行残額について】

○入札差金

- ・住宅用火災警報器の購入に関する入札差金 3,790

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる委託料等の残 184

決算書 (P296～P297)	8款7項1目 住宅管理費	所管課等	建築住宅課
事業名	公営住宅管理運営費		

(参考) 公営住宅の入居状況 (令和6年度末)

住宅区分	棟数	管理戸数	入居戸数	空戸数	入居率 (%)
市営住宅	114	688	482	206	70.1
改良住宅	5	270	249	21	92.2
県営住宅	32	617	459	158	74.4
特定公共賃貸住宅	34	154	124	30	80.5
市営賃貸住宅	4	40	27	13	67.5
合計	189	1,769	1,341	428	75.8

(参考) 公営住宅使用料の収納状況 (令和6年度)

(単位:円)

住宅区分		調定額	収納額	未納額	収納率 (%)
市営住宅 (改良住宅を含む。)	現年度	117,295,900	114,353,500	2,942,400	97.5
	過年度	24,182,018	2,730,184	21,451,834	11.3
	計	141,477,918	117,083,684	24,394,234	82.8
特定公共 賃貸住宅	現年度	66,459,200	66,437,200	22,000	100.0
	過年度	296,800	228,600	68,200	77.0
	計	66,756,000	66,665,800	90,200	99.9
市営賃貸 住宅	現年度	9,640,000	9,580,000	60,000	99.4
	過年度	258,602	227,009	31,593	87.8
	計	9,898,602	9,807,009	91,593	99.1
合計	現年度	193,395,100	190,370,700	3,024,400	98.4
	過年度	24,737,420	3,185,793	21,551,627	12.9
	合計	218,132,520	193,556,493	24,576,027	88.7

(単位：千円)

決算書 (P296～P299)	8款7項1目 住宅管理費	所管課等	建築住宅課
事業名	空き家等管理促進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
31,562	26,968	1,427	7,141			18,400
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,594				4,594	

## 【目的】

- ・空き家の所有者等が行う「適正管理」や「利活用」を支援するとともに、「空き家化予防」に向けた取組等を実施し、市民の安全・安心な生活を確保する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■空き家等管理促進事業 24,201

## ○令和6年度目標

- ・「第2期空き家等対策計画」に基づく除却・利活用等の支援制度を周知するほか、特定空き家等の所有者等に対する取組を通じ、特定空き家等の削減に努める。
- ・空き家情報バンク制度の運用や空き家対策セミナーの開催などを通じて利活用と空き家化予防の取組を進め、空き家の解消と発生の抑制に努める。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・上越市空き家等対策協議会の開催 3回(6月、10月、2月)
- ・特定空き家等の所有者等に助言・指導書を通知 3回(7月、11月、3月)
- ・市が認定している空き家等数

(単位：件)

区分 年度	特定空き家等	管理不全 空き家等	経過観察	合計
令和2年度	267	776	1,991	3,034
令和3年度	265	689	1,959	2,913
令和4年度	278	645	1,781	2,704
令和5年度	274	645	1,680	2,599
令和6年度	263	644	1,622	2,529

決算書 (P 296～P 299)	8 款 7 項 1 目 住宅管理費	所管課等	建築住宅課
事業名	空き家等管理促進事業		

・補助事業による支援実績

区 分	予定件数(件)	実施件数(件)	補助額
特定空き家等除却費補助金	6	5	2,355
空き家等除却費補助金	1	1	500
空き家定住促進利活用補助金	9	10	11,254
空き家活用のための家財道具等処分費補助金	1	2	154
定住促進生家等利活用補助金	5	4	4,297
計	22	22	18,560

・空き家情報バンクの運営

空き家の有効活用等を目的に、空き家の所有者等から申出のあった空き家をホームページに登録し、情報を発信した。

また、空き家の悩みごとについての無料相談会を開催し、希望物件の同バンクへの登録を行った。

・空き家情報バンクの登録件数等の実績

(単位：件)

区 分	年 度	令和 5 年度	令和 6 年度	増 減	累 計 (H28 年度以降)
		開催回数	25	24	△1
無料相談会	相談件数	48	95	47	365
	登録件数	64	72	8	308
空き家情報バンク	成約件数	39	36	△3	151

・空き家利活用セミナーの開催

生家が空き家になる前に準備しておくことや、空き家になった場合の有効的な活用事例などに関するセミナーと個別相談会を開催した。

開催日：令和 7 年 2 月 15 日（土）

場 所：市民プラザ

参加者：セミナー 56 人、個別相談会 9 人

・特定空き家等コンサルティング業務

市が把握する特定空き家等の所有者や管理者のうち専門家に管理や処分の相談を希望される方について、空き家対策を行う NPO 法人に委託し、訪問、面談等を通じ、解体や修繕等の具体的提案を行った。

コンサルティング実施件数 12 件（成果：解体 2 件、売却に向けた修繕 1 件）

決算書 (P 296～P 299)	8 款 7 項 1 目 住宅管理費	所管課等	建築住宅課
事業名	空き家等管理促進事業		

○目標達成状況

- ・「第2期空き家等対策計画」に基づき、空き家の所有者等に対する適正管理の依頼にあわせ、除却や利活用に関する支援制度を周知し、適正な管理や活用促進に努めた。また、特定空き家等の所有者等に対し助言・指導を行い、特定空き家等の削減に努めた。

■地域独自の予算事業 2,767

- ・地域活性化のための空き家利活用推進事業（柿崎区）(2,620)
- ・中郷区空き家相談窓口設置（中郷区）(147)

【事業の成果】

- ・空き家の所有者等に対して、適正管理や利活用、予防の取組を進めたことにより、空き家の減少につながるとともに、市民の安全・安心な生活の確保に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・町内会との連携により、危険な空き家の状況把握に努め、助言・指導を含め所有者等へ適切な維持管理を促していく。
- ・利活用が可能な空き家が危険な空き家へ移行しないよう、空き家所有者への注意喚起を行い、空き家情報バンク制度の登録等利活用を促していく。
- ・将来的な住まいの処分等について所有者により意識が異なることから、セミナーや相談会を通じて空き家化予防の取組を進め、空き家の発生を抑制していく。
- ・空き家の全体数は減少傾向にあるものの、様々な理由により特定空き家等が減らない状況にあることから、複雑化している特定空き家等の削減に向けた取組を進めていく。

【執行残額について】

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる補助金、通信運搬費等の残 4,594

(単位：千円)

決算書 (P298～P299)	8款7項1目 住宅管理費	所管課等	建築住宅課
事業名	町家シェアハウス管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,090	668				668 (譲収入等)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	422				422	

**【目的】**

- ・入居者と地域住民との交流を通じた地域の活性化と町家の市場流通の促進を図る。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和6年度目標

- ・シェアハウス大町の適切な維持管理に努める。
- ・地域の活性化に向け入居者と地域住民との交流を支援する。
- ・町家特有の課題や改修方法を情報提供し、町家で暮らす人の居住の継続を支えるとともに、民間における町家の利活用のアドバイス等を行う。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・入居者による地域交流イベントの実績

開催日	イベント	内容	参加者
10月27日(日)	休憩所の開設	・朝市に合わせ休憩所を開設し、お茶を振る舞った。 ・スマートフォン操作についての相談会を実施し、地元町内会のほか、朝市に訪れた市民とも交流した。	82人
2月16日(日)	郷土料理交流会	・入居者の出身地の郷土料理を地元町内会の方々に伝え、一緒に作ることで、地域との交流を図った。	7人

## ○目標達成状況

- ・施設の点検及び入居者からの聞き取りを毎月行うなど、適切な維持管理に努めた。
- ・地域住民との交流イベントを開催し、入居者と地域住民との交流を支援することができた。
- ・町家改修ガイドブックの配布等により、町家特有の課題や改修方法等の情報提供と市場流通の促進に努めた。

決算書 (P 298～P 299)	8 款 7 項 1 目 住宅管理費	所管課等	建築住宅課
事業名	町家シェアハウス管理運営費		

#### 【事業の成果】

- ・施設の維持管理を適切に行い、安全・安心な居住環境を提供することができた。
- ・イベントを通じ、入居者と地域住民との交流を支援することで地域の活性化の一助となった。
- ・町家改修ガイドブックの配布や市ホームページへの掲載を通じ、町家の居住継続に向けた改修事例の周知が図られた。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・シェアハウス大町の入居者が今後も地域住民との自発的な交流を図ることができるよう、引き続き入居者のサポートに努めていく。
- ・令和 6 年度の入退去については、定員 5 人のところ 3 人で生活をしていたが、2 月に 1 人、3 月に 1 人が卒業等により退去し、1 人となったものの、その後、3 月中に、新たに令和 7 年 4 月から入居する 2 人が決定した。引き続き、市ホームページにより周知するほか、市内大学等への訪問を行い合格者への入居者募集案内の送付やポスターの掲出等で P R していく。

#### 【執行残額について】

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる光熱水費、消耗品費等の残 422

(単位：千円)

決算書 (P298～P299)	8款7項2目 住宅整備費	所管課等	建築住宅課
事業名	公営住宅整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
202,766	157,863	78,872		55,400	85 (繰越金)	23,506
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
44,066	837				837	

## 【目的】

- ・公営住宅等長寿命化計画に基づき、施設・設備の改修等を行い、入居者の居住環境の維持・向上を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・工事については、早期に発注し、12月末までに完了する。

## ○実施内容、これまでの経過等

## ◇令和5年度繰越明許分

種別	内容	執行額
工事	市営中通住宅3号棟給水管改修工事	9,570

## ◇令和6年度分

種別	内容	執行額
委託	アスベスト検体検査(市営中通住宅3号棟)	116
工事	市営六ノ辻住宅解体工事	46,547
	市営安江住宅3号棟屋上防水・外壁改修工事	55,036
	市営南本町住宅4号棟屋上防水・外壁改修工事	46,594
合計		148,293

決算書 (P298～P299)	8款7項2目 住宅整備費	所管課等	建築住宅課
事業名	公営住宅整備事業		

○目標達成状況

- ・市営六ノ辻住宅解体工事及び市営南本町住宅4号棟屋上防水・外壁改修工事は、早期発注に努め、年内に工事を完了した。
- ・市営安江住宅3号棟屋上防水・外壁改修工事は、早期発注に努めたが、防水末端金物の腐食が判明したため、当該金物の撤去新設を追加したことから工事の完了が1月となった。
- ・市営中通住宅3号棟屋上・外壁改修工事は、財源となる国庫支出金の変更交付決定が年度末となり、年度内に工事を完了できないことから繰越しとなった。

【事業の成果】

- ・住宅の長寿命化工事を実施したことにより、居住環境の維持向上と入居者が安全で安心して暮らすことができる居住環境を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、公営住宅等長寿命化計画に基づき施設・設備の改修を行い、居住環境の維持向上と安全で安心して暮らすことができる居住環境を提供していく。

【執行残額について】

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる委託料及び工事請負費の残 837

(単位：千円)

決算書 (P298～P299)	8款7項2目 住宅整備費	所管課等	建築住宅課
事業名	住宅リフォーム促進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
82,851	82,042					82,042
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	809				809	

**【目的】**

- ・住宅リフォーム工事を支援し、エネルギー価格を始めとした物価高騰、人件費の高騰により影響を受けている市内経済の活性化と市民の居住環境の向上を図る。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和6年度目標

- ・広報上越や市ホームページへの掲載等により制度の活用に向けた周知を図るほか、適切な補助事業の執行に努める。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・令和6年度の実績

受付期間	令和6年5月22日(水)～6月20日(木)
補助金額	7,955万1千円
補助件数	631件(申請件数：1,250件)
補助率	対象工事費の20%(消費税込み10万円以上の工事が対象)
補助額	15万円限度(1件当たりの平均補助額：約12万6千円)
補助対象工事費	8億3,958万8千円
事業効果	10.6倍(補助対象工事費/補助金額)

## ○目標達成状況

- ・広報上越や市ホームページへの掲載を始め、制度活用に向けたパンフレットの配布により事業を周知したほか、補助金の交付事務を適切に行い、年度内に交付を完了した。

決算書 (P 298～P 299)	8 款 7 項 2 目 住宅整備費	所管課等	建築住宅課
事業名	住宅リフォーム促進事業		

**【事業の成果】**

- ・リフォーム工事の補助金額に対する補助対象工事費が 10.6 倍となり、居住環境の改善とあわせ、住宅関連業者を中心に地域経済の活性化に寄与することができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・エネルギー価格を始めとした物価高騰や人件費の高騰の影響による市内経済の状況を見定めるとともに、本事業の効果を検証しながら今後の事業実施を検討していく。

**【執行残額について】**

○その他

- ・申請取下げによる補助金の残 449
- ・当初の見込みを下回ったことによる通信運搬費、共済費等の残 360

(単位：千円)

決算書 (P298～P299)	8 款 7 項 3 目 住宅対策費	所管課等	建築住宅課
事業名	木造住宅耐震化支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,471	12,228	5,741	2,492			3,995
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	243				243	

## 【目的】

- ・いっどこで発生するかわからない地震から市民の生命と財産を守り、安全・安心な暮らしを実現するため、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図る。

## 令和 6 年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和 6 年度目標

- ・令和 6 年能登半島地震での死亡者の多くが住宅倒壊による圧死や窒息死であったため最も効果的な取組として耐震化を進めることにより、建物全壊被害の大幅な減少に向け、耐震改修補助件数を拡充し、迅速に耐震改修の支援を行い、住宅倒壊から市民の生命と財産を守る。
- ・昭和 55 年以前の旧耐震基準により建築された木造住宅の所有者に対して戸別のアンケートを行うなど、積極的な普及啓発を行い、耐震改修への意識を高める。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・昭和 56 年以前に着工された住宅の所有者に対し、住宅の耐震化を促すダイレクトメールやアンケートを送付し、事業の周知を図った。
- ・補助金等の実績

区分	予定数 (件)	実績数 (件)	補助等額
木造住宅耐震診断委託	80	94	9,856
耐震改修工事 (全体改修) 補助金	10	0	0
耐震改修工事 (部分改修) 補助金	10	0	0
耐震シェルター等設置工事補助金	5	4	1,200
除却工事補助金	10	3	900

決算書 (P 298～P 299)	8 款 7 項 3 目 住宅対策費	所管課等	建築住宅課
事業名	木造住宅耐震化支援事業		

○目標達成状況

- ・耐震診断については、予定件数の 80 件を上回る 94 件の支援を行った。
- ・耐震診断から改修工事につなげるための取組として、診断申込者に対し、年内での改修工事の意向確認を行い早期に診断員を派遣できるように調整したほか、診断結果を申込者に伝える際には次のステップに向けたアドバイスを丁寧に案内したが、耐震改修工事補助金の申請はなかった（令和 7 年度予算では 2 件の予定件数に対し 2 件の交付決定済）。
- ・旧耐震基準により建てられた住宅（2,300 棟を抽出）の所有者を対象とした耐震化に対するアンケートの実施により、市民のニーズを把握するとともに、防災意識の高揚に努めた。
- ・木造住宅耐震化支援事業の実績 （単位：件）

区 分	年 度							
	H16～H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
耐震診断	431	12	9	8	8	9	11	94
耐震設計	33	1	0	1	0	-	-	-
耐震改修	34	0	1	1	-	-	-	0
耐震シェルター等	-	0	1	0	0	-	-	4
除却工事	-	-	-	-	-	-	-	3

※「-」は、補助対象事業がない年度を示す。

※令和 6 年度の耐震改修には耐震設計の経費を含めることができる制度設計となっている。

【事業の成果】

- ・耐震診断の結果、耐震性能が低い場合においては耐震性能向上のための耐震改修など、地震に対する備えの検討材料を提示することにより、耐震化の重要性に係る市民意識の向上を図ったほか、耐震シェルターの設置工事及び除却工事については一定のニーズがあり、目的達成の一助となった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・昭和 55 年以前に建築された建物は、築 44 年以上経過しており、耐震改修に当たっては建物の老朽化も相まって多額の費用を要することや所有者の高齢化などの理由により、耐震改修につながっていない状況である。
- ・耐震化に関するアンケート結果では、耐震診断や耐震改修を希望されていることが一定数確認できたことから、引き続き地震に強い住環境の整備に係る支援を進めていく。

【執行残額について】

○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる通信運搬費、委託料の残 243

(単位：千円)

決算書 (P362～P365)	11款3項1目 道路橋梁災害復旧費	所管課等	道路課
事業名	道路橋梁災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
191,890	156,599	64,678		56,100	33,999 (繰越金)	1,822
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
27,900	7,391			1,066	6,325	

## 【目的】

- ・地すべりや豪雨等により被災した市道の復旧工事を早期に行い、生活道路の機能回復を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

◇令和5年発生 9月豪雨災害(公共土木施設災害復旧事業)

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	国府団地環状線	国府二丁目	工事請負費 7,204	道路復旧 L=22m

◇令和5年発生 10月豪雨災害(公共土木施設災害復旧事業)

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	高住丹原線	丹原	工事請負費 69,556	道路復旧 L=50m

◇令和6年発生 能登半島地震災害(公共土木施設災害復旧事業)

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	西本町四丁目2号線	西本町四丁目	工事請負費 9,185	道路復旧 L=61m
安塚区	朴ノ木上用水線	朴の木	委託料 3,102	測量設計 一式
			工事請負費(前払金) 13,600	道路復旧 L=21m
			工事請負費 4,569	土砂撤去 一式

◇令和6年発生 能登半島地震災害(単独災害復旧事業)

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	三交直江津五智環状線ほか	五智三丁目ほか	工事請負費 25,515	側溝、舗装復旧 一式

決算書 (P 362～P 365)	11 款 3 項 1 目 道路橋梁災害復旧費	所管課等	道路課
事業名	道路橋梁災害復旧費		

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容
安塚区	中船上船線	上船倉	工事請負費 822	路肩復旧 一式
牧区	東頸城幹線ほか	片町ほか	工事請負費 5,635	舗装復旧 一式
柿崎区	上下浜正ブ原 2 号線 ほか	上下浜ほか	工事請負費 2,819	側溝、舗装復旧 一式
大潟区	大潟 1007 号線	川北ほか	工事請負費 660	舗装復旧 一式
頸城区	頸城線ほか	上吉ほか	工事請負費 4,972	舗装復旧 一式
板倉区	不動新田箕冠線	不動新田	工事請負費 979	土砂撤去 一式
清里区	上中條神社線ほか	上中條ほか	工事請負費 4,901	土砂撤去 一式 路肩、舗装復旧 一式
名立区	大山線ほか	大菅ほか	工事請負費 3,080	土砂撤去 一式 法面、舗装復旧 一式

#### 【事業の成果】

- ・復旧工事の完了により、交通障害が解消され、生活道路の機能回復を図ることができた。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・災害が発生した場合は、直ちに現場状況を把握するとともに、復旧事業が円滑に進められるよう、速やかに地元町内会や関係機関と協議・調整を行うほか、工事等の進捗管理を徹底し、早期復旧に努める。

#### 【執行残額について】

##### ○入札差金

- ・工事請負費の入札差金 1,066

##### ○その他

- ・当初の見込みを下回ったことによる工事請負費の残 6,325

決算書 (P362～P365)	11款3項1目 道路橋梁災害復旧費	所管課等	道路課
事業名	道路橋梁災害復旧費		

〔令和5年発生 9月豪雨災害 国府団地環状線（国府二丁目地内）〕



着手前



竣工

〔令和5年発生 10月豪雨災害 高住丹原線（丹原地内）〕



着手前



竣工

〔令和6年発生 能登半島地震災害 西本町四丁目2号線（西本町四丁目地内）〕



着手前



竣工

(単位：千円)

決算書 (P364～P365)	11款3項2目 都市施設災害復旧費	所管課等	都市整備課
事業名	都市施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,685	3,685					3,685
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	-					

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- 令和6年発生 能登半島地震災害(単独災害復旧事業)

地区	公園名	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	たにはま公園	長浜ほか	工事請負費 3,685	法面復旧 一式

## 【事業の成果】

- 崩落した法面の早期復旧により、被害拡大を防止した。

## 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- 災害復旧工事では、速やかな復旧が求められることから、関係者と綿密に工程調整するとともに、進捗管理を適切に行っていく。